

平成 30 年 度

野々市市の教育概要

野々市市教育委員会

平成 30 年 8 月

愛と和の市民憲章

遥かに霊峰白山を仰ぐ野々市市は、古くから加賀の中心として栄えたところです。

わたくしたちは、この恵まれた自然環境と歴史・文化・産業の豊かなまちに住むことを大きな誇りとし、限りなく平和で繁栄することを願い、ここに市民憲章を定めます。

1. 郷土を愛し、緑ゆたかな

住みよいまちをつくりましょう。

1. 伝統を重んじ、教育文化の

香り高いまちをつくりましょう。

1. 健康を増進し、活気みなぎる

明るいまちをつくりましょう。

1. 勤労を尊び、感謝と奉仕の心で

温かいまちをつくりましょう。

1. 秩序を守り、笑顔でふれ合う

和やかなまちをつくりましょう。



市花木 ツバキ

目 次

I. 市勢概況	1
1. 野々市市のあゆみ	1
2. 人口と世帯数の推移	2
3. 平成30年人口ピラミッド	2
II. 予算の概要	3
1. 野々市市一般会計予算の規模	3
2. 施策の大綱	3
3. 教育費予算の規模	3
4. 一般会計予算額の構成比	4
5. 教育費予算額の構成比	4
6. 教育予算歳出の状況	5
III. 教育目標及び基本方針	6
IV. 教育行政	7
1. 教育委員会会議	7
2. 総合教育会議	7
3. 教育委員会事務事業点検・評価	7
4. 教育委員会事務局機構図	8
V. 学校教育	9
1. 基本目標及び基本的施策	9
(1) 基本目標	9
(2) 基本的施策	9
2. 市立小・中学校教育目標	10
小学校・中学校の校名の由来、校旗及び校章の意味	13
3. 学校教育施策体系	15
(1) 教育活動	16
(2) 児童・生徒	18
(3) 教育環境	19
(4) 研 修	20
4. 教育施設	21
(1) 学校施設	21
(2) 通学区域	22
(3) 市立小・中学校別学級数・児童生徒数及び教職員数	22
(4) 市立小学校数・学級数・児童数及び教職員数	23
(5) 特別支援学級の状況	23
(6) 市立中学校数・学級数・生徒数及び教職員数	23
(7) 中学校卒業生進路状況	24
(8) 児童・生徒の推移	24
(9) 私立幼稚園学級数・園児数及び教職員数	25
(10) 石川県立明和特別支援学校学級数・児童・生徒数及び教職員数	25
(11) 石川県立野々市明倫高等学校学級数・生徒数及び教職員数	25
(12) 石川県公立大学法人石川県立大学学生数及び教職員数	26

(13) 石川県公立大学法人石川県立大学学科別学生数	26
(14) 国際高等専門学校学級数・生徒数及び教職員数	28
(15) 国際高等専門学校学科別生徒数	28
(16) 金沢工業大学学生数及び教職員数	29
(17) 金沢工業大学学科別学生数	30
VI. 生涯学習	31
1. 基本目標及び基本的施策	31
(1) 基本目標	31
(2) 基本的施策	31
2. 生涯学習施策体系	32
(1) 生涯学習体制の整備	33
(2) 家庭教育の推進	33
(3) 青少年健全育成の推進	34
(4) 地域教育力の活性化	35
(5) 成人教育の充実	36
(6) 公民館活動の充実	37
(7) 図書館活動の充実	38
(8) 女性センター事業の推進	40
(9) 社会教育団体の支援	40
(10) 社会教育施設の管理	41
青少年対策機構図	44
VII. 文 化	45
1. 基本目標及び基本的施策	45
(1) 基本目標	45
(2) 基本的施策	45
2. 文化施策体系	46
(1) 文化遺産の保全と活用	47
(2) 文化振興	53
VIII. スポーツ	61
1. 基本目標及び基本的施策	61
(1) 基本目標	61
(2) 基本的施策	61
2. スポーツ振興施策体系	62
(1) スポーツ振興体制の確立	63
(2) スポーツ活動の推進	63
(3) スポーツ団体の育成	65
3. 体育施設	70
(1) 社会体育施設	70
(2) 学校体育開放施設	73
資 料	
各種委員会委員等	75
歴代教育委員	82
市内施設住所・電話番号一覧	83
市内施設配置図	84

I. 市 勢 概 況

1. 野々市市のあゆみ

霊峰白山を望む手取扇状地の扇央東部に位置する野々市市には、縄文時代後期中葉より晩期全般にわたる大集落跡である史跡御経塚遺跡をはじめ、巨大な塔心礎や古瓦・土器類が無数に出土した白鳳時代の大寺院の跡である史跡末松廃寺跡など数多くの遺跡が所在しています。特に末松廃寺跡は、加賀の古代文化の鍵をにぎるものとして注目を浴び、我が国ではじめて造られた銀銭「和同開珎」も発見されています。

中世においては、加賀守護として富樫氏が活躍し、富樫政親が加賀一向一揆の衆徒に滅ぼされるまで富樫氏は野々市で国政を執りました。その結果、当地は戸数5千戸を越える加賀における政治・経済・文化の中心地として栄えたと伝えられています。

藩政時代は北陸道の一宿駅として名をとどめていましたが、明治末から大正にかけて全国にさきがけて耕地整理が行われ穀倉地帯として、名実ともに加賀米の中心地となって農業が盛んに行われてきました。

また昭和30年から32年にかけて野々市町と富奥村、郷村、押野村の一町三村が合併編入して新しい野々市町が生まれました。

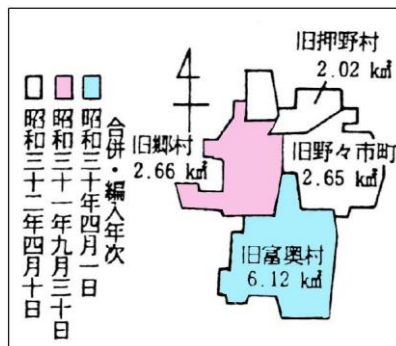
以来、交通の要衝として商業と近郊農業を産業の核として、土地区画整理事業の施行により急速に都市化が進む中、平成22年国勢調査で人口5万人を達成し、平成23年11月11日市制へと移行しました。

住む人が誇りと愛着を持ち、訪れる人が憧れを抱く「みんなに選ばれるまち」をめざして、未来を見据えた取り組みを行ってまいります。



市 章

昭和35年6月15日制定。章は平仮名で“のの”を組合せ分銅を形成し、まちの融和と発展を象徴した簡潔清らかな意匠である。



野々市市は石川県のほぼ中央部に位置し、山海のない平坦地で北と東側を金沢市、南と西側を白山市とそれぞれ接しています。

北緯 36° 31' 45" 東西 4.5 km

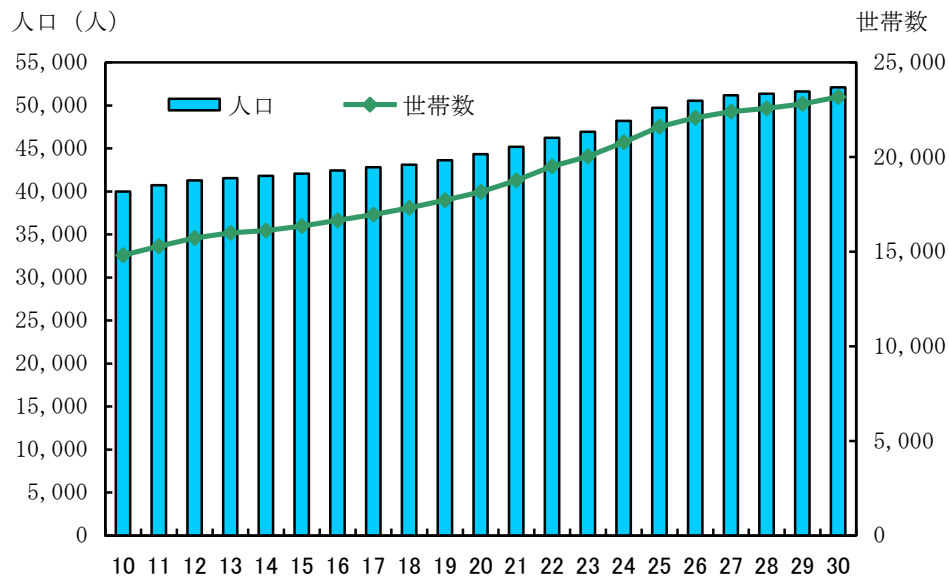
東経 136° 37' 60" 南北 6.7 km

海拔最高/最低 49.6/8.4m

面積 13.56km² (国土地理院の調査による)

石川県面積に対する割合……0.32%

2. 人口と世帯数の推移

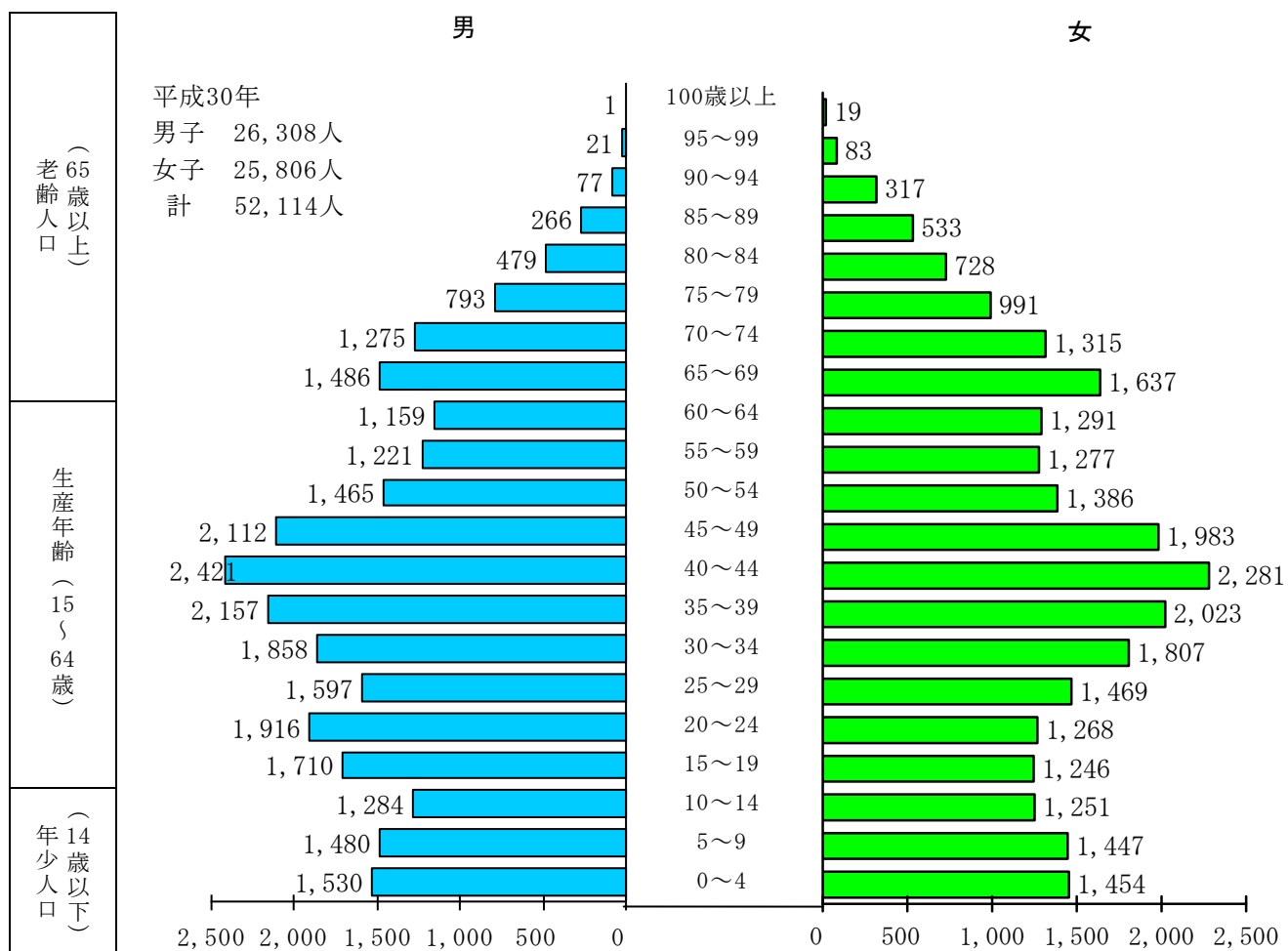


住民基本台帳より
各年3月31日現在

年	人口 (人)	世帯数
10	39,969	14,811
11	40,746	15,284
12	41,280	15,729
13	41,549	15,994
14	41,813	16,121
15	42,069	16,343
16	42,449	16,652
17	42,795	16,952
18	43,106	17,308
19	43,627	17,726
20	44,341	18,153
21	45,192	18,768
22	46,216	19,504
23	46,948	20,042
24	48,196	20,785
25	49,710	21,601
26	50,539	22,071
27	51,155	22,391
28	51,364	22,565
29	51,612	22,802
30	52,114	23,182

3. 平成30年人口ピラミッド

平成30年3月31日現在



Ⅱ. 予 算 の 概 要

1. 野々市市一般会計予算の規模

平成30年度当初予算額	204億円
平成29年度当初予算額	209億5,000万円
対 前 年 度 比 較	△5億5000万円
増 減 率	2.6%の減

2. 施策の大綱

将来都市像「人の和で 椿十徳 生きるまち」

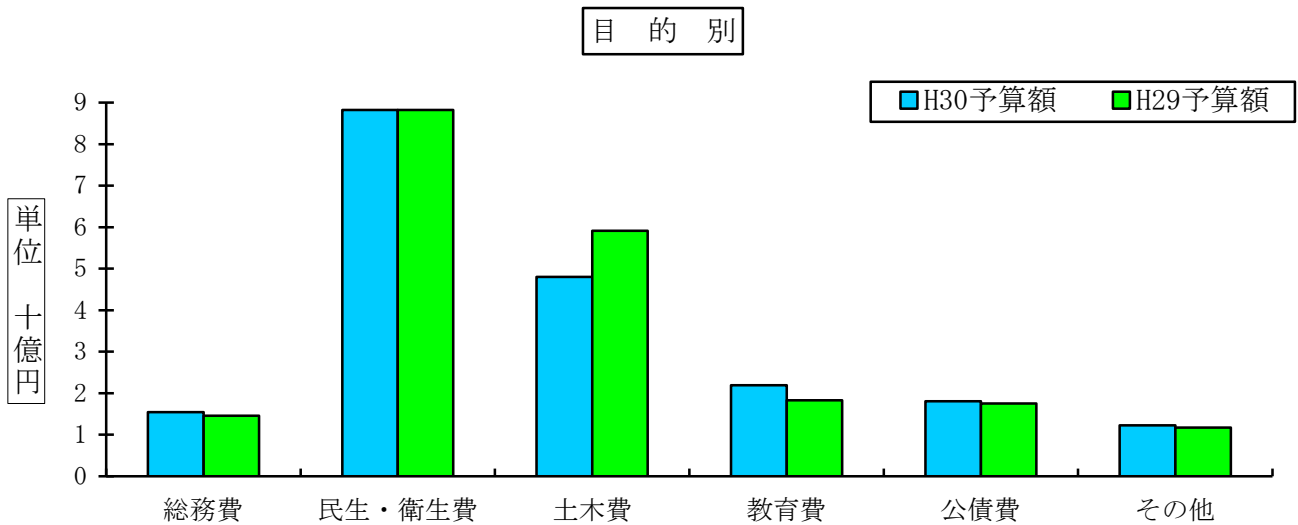
【政策】

- 1 一人ひとりが坦い手のまち【市民生活】
- 2 生涯健康心のかよう福祉のまち【福祉・保健・医療】
- 3 安心とぬくもりを感じるまち【安全安心】
- 4 環境について考える人が住むまち【環境】
- 5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】
- 6 野々市産の活気あふれるまち【産業振興】
- 7 くらし充実快適がゆきとどくまち【都市基盤】
- 8 住み続けたい！をみんなの声でつくるまち【行財政運営】

3. 教育費予算の規模

平成30年度当初予算額	21億9,218万5千円
平成29年度当初予算額	18億3,333万6千円
対 前 年 度 比 較	3億5,884万9千円
増 減 率	19.6%の増
対 一 般 会 計 構 成 比	10.7%

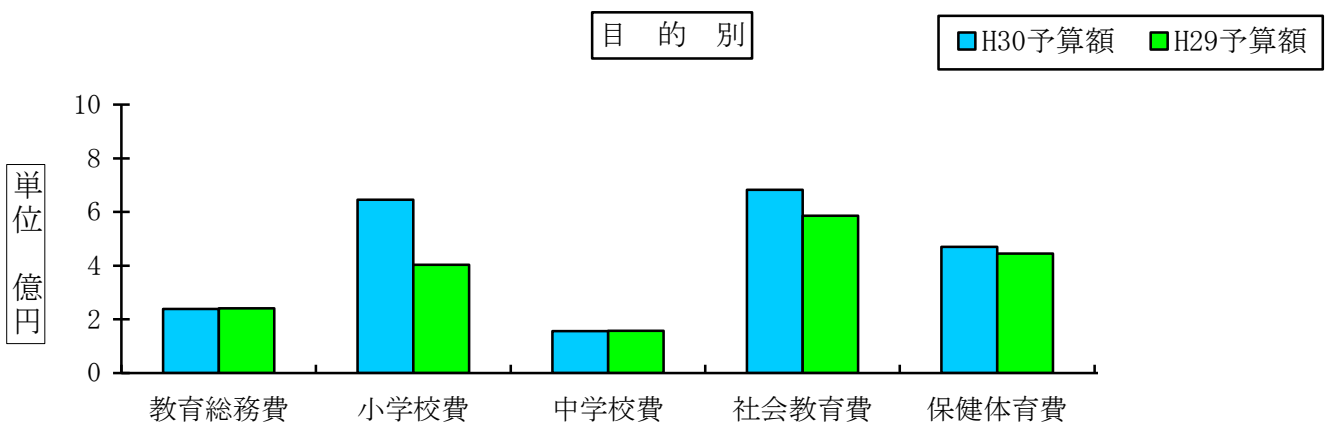
4. 一般会計予算額の構成比



区 分	平成30年度		平成29年度		増減C	増減率
	予算額A	構成比	予算額B	構成比	A - B	C / B × 100
総 務 費	1,544,721	7.6	1,464,009	7.0	80,712	5.5
民生・衛生費	8,822,638	43.2	8,819,165	42.1	3,473	0.0
土 木 費	4,800,232	23.5	5,909,299	28.2	△ 1,109,067	△ 18.8
教 育 費	2,192,185	10.7	1,833,336	8.7	358,849	19.6
公 債 費	1,809,240	8.9	1,750,413	8.4	58,827	3.4
そ の 他	1,230,984	6.1	1,173,778	5.6	57,206	4.9
合 計	20,400,000	100.0	20,950,000	100.0	△ 550,000	△ 2.6

その他（議会費、労働費、農林水産業費、商工費、消防費、災害復旧費、諸支出金、予備費）

5. 教育費予算額の構成比



(単位: 千円、%)

区 分	平成30年度		平成29年度		増減C	増減率
	予算額A	構成比	予算額B	構成比	A - B	C / B × 100
教育総務費	238,970	10.9	240,783	13.1	△ 1,813	△ 0.8
小 学 校 費	645,178	29.4	403,366	22.0	241,812	59.9
中 学 校 費	155,717	7.1	157,568	8.6	△ 1,851	△ 1.2
社会教育費	682,180	31.1	586,255	32.0	95,925	16.4
保 健 体 育 費	470,140	21.4	445,364	24.3	24,776	5.6
合 計	2,192,185	100.0	1,833,336	100.0	358,849	19.6

6. 教育予算歳出の状況

(単位：千円)

区 分	平成30年度		平成29年度		増減	前年比 (%)
	当初予算額 (A)	構成比 (%)	当初予算額 (B)	構成比 (%)	A－B (C)	C／B × 1 0 0
教育費	2, 192, 185	55. 94	1, 833, 336	35. 69	358, 849	19. 57
1 教育総務費	238, 970	10. 87	240, 783	13. 08	△ 1, 813	△ 0. 75
1 教育委員会費	2, 706	0. 12	3, 006	0. 16	△ 300	△ 9. 98
2 事務局費	204, 089	9. 28	206, 435	11. 22	△ 2, 346	△ 1. 14
3 事務局振興費	16, 716	0. 76	16, 395	0. 89	321	1. 96
4 特別支援教育費	1, 514	0. 07	44	0. 00	1, 470	3340. 91
5 教育センター費	13, 945	0. 63	14, 903	0. 81	△ 958	△ 6. 43
2 小学校費	645, 178	29. 33	403, 366	21. 91	241, 812	59. 95
1 管理費	453, 711	20. 63	227, 708	12. 37	226, 003	99. 25
2 教育振興費	191, 467	8. 71	175, 658	9. 54	15, 809	9. 00
3 中学校費	155, 717	7. 08	157, 568	8. 56	△ 1, 851	△ 1. 17
1 管理費	104, 782	4. 76	108, 803	5. 91	△ 4, 021	△ 3. 70
2 教育振興費	50, 935	2. 32	48, 765	2. 65	2, 170	4. 45
4 社会教育費	682, 180	31. 02	586, 255	31. 85	95, 925	16. 36
1 社会教育総務費	107, 383	4. 88	103, 251	5. 61	4, 132	4. 00
2 青少年教育費	10, 622	0. 48	11, 123	0. 60	△ 501	△ 4. 50
3 社会教育振興費	27, 632	1. 26	37, 739	2. 05	△ 10, 107	△ 26. 78
4 図書館費	295, 912	13. 45	117, 843	6. 40	178, 069	151. 11
5 文化財保護費	118, 803	5. 40	183, 146	9. 95	△ 64, 343	△ 35. 13
6 文化振興費	121, 828	5. 54	133, 153	7. 23	△ 11, 325	△ 8. 51
5 保健体育費	470, 140	21. 38	445, 364	24. 20	24, 776	5. 56
1 保健体育総務費	47, 770	2. 17	47, 117	2. 56	653	1. 39
2 保健体育施設費	138, 756	6. 31	125, 988	6. 84	12, 768	10. 13
3 保健体育振興費	20, 602	0. 94	17, 331	0. 94	3, 271	18. 87
4 給食センター費	263, 012	11. 96	254, 928	13. 85	8, 084	3. 17
労働費						
1 労働諸費						
2 女性センター費	7, 257	0. 19	7, 271	0. 14	△ 14	△ 0. 19
土木費						
4 都市計画費						
6 都市再生整備費	1, 708, 509	43. 60	3, 284, 266	63. 94	△ 1, 575, 757	△ 47. 98
消防費						
1 消防費						
3 富奥防災コミュニティセンター費	11, 013	0. 28	11, 475	0. 22	△ 462	△ 4. 03

Ⅲ. 教育目標及び基本方針

【教育目標】

未来を担う子供たちが健全に成長できるよう知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成をめざします。さらに市民一人ひとりが互いの個性や人間性を尊重しながら、生涯にわたって自らの人格の形成に励み、平和で豊かな地域社会づくりに貢献できる人づくりをめざします。

【基本方針】

1. 確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく身に付けた児童生徒の育成をめざします。
2. 市民参画の生涯学習活動を展開するための環境整備と学習機会の充実を図ります。
3. 家庭・地域の教育力を高め、青少年が心豊かに育つまちづくりを進めます。
4. 郷土の伝統芸能を保存継承するとともに文化財の保護活用を進め、市民の地域文化に対する理解の深まりをめざします。
5. 芸術文化に親しむ機会を提供するとともに、新しい市民文化の自発的な創造をめざします。
6. 生涯にわたり、健康でいきいきと生活するため、誰もが自ら気軽に参画できるスポーツ・レクリエーション活動などの推進に努めます。

IV. 教 育 行 政

1. 教育委員会会議

各年12月末日現在（単位：回、件）

年	招 集 回 数		議 案
	定 例 会	臨 時 会	
平成 25 年	12	2	26
平成 26 年	12	2	36
平成 27 年	12	3	37
平成 28 年	12	2	20
平成 29 年	12	2	31

2. 総合教育会議

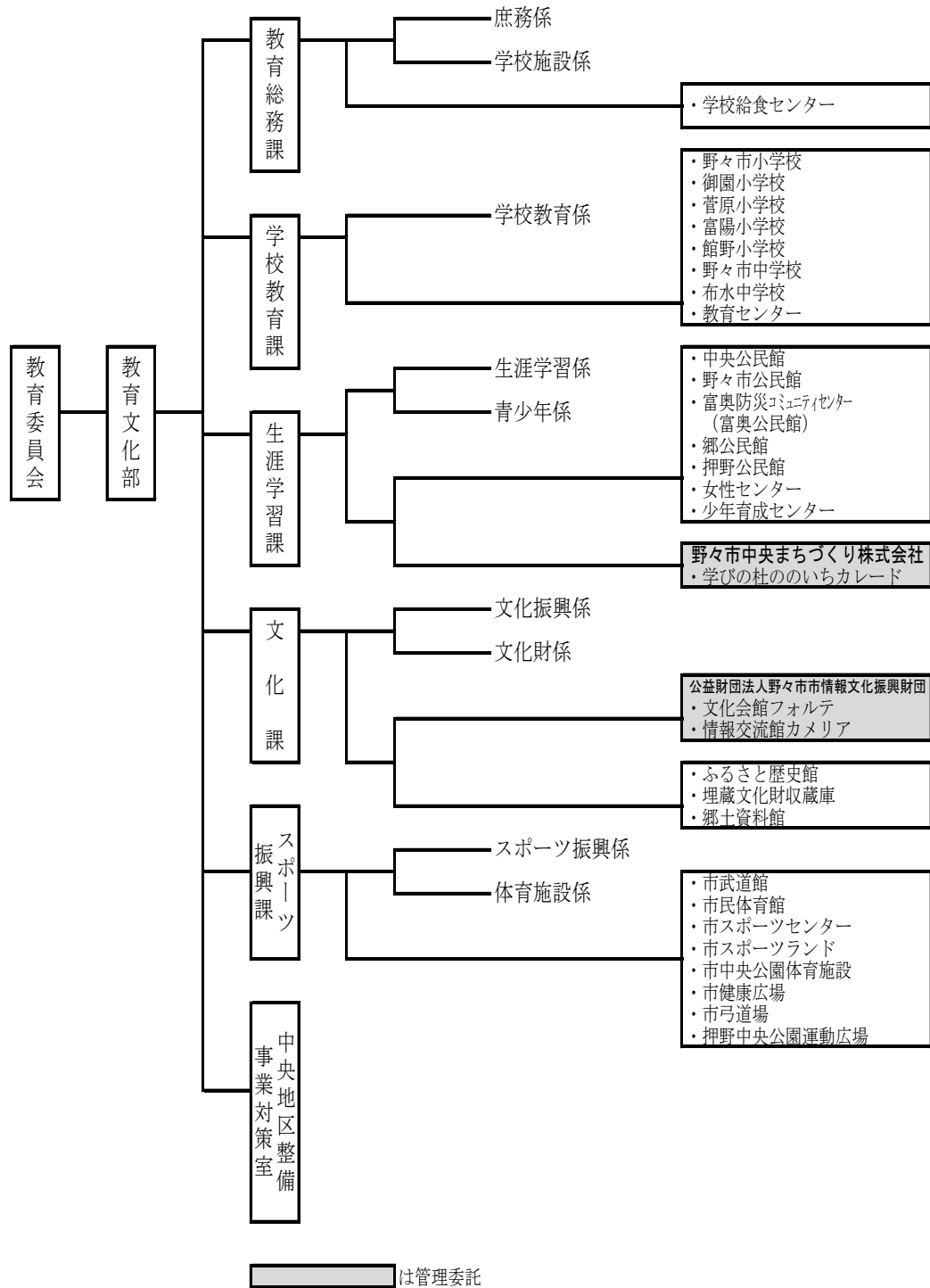
年度	開催日	協議事項
平成 27 年度	8 月 31 日	・野々市市教育大綱の策定について
	12 月 22 日	・緊急の場合に講ずべき措置について
平成 28 年度	4 月 27 日	・教育の基本目標について
	12 月 22 日	・市教育振興基本計画の見直しについて ・市いじめ防止基本方針の骨子（案）について
平成 29 年度	7 月 31 日	・市教育大綱（案）について
	12 月 25 日	・学校教職員の多忙化解消について ・次期学習指導要領への移行について

3. 教育委員会事務事業点検・評価

教育委員会の責任体制の明確化等を柱とした、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が平成 20 年 4 月 1 日に施行され、これにより「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表すること」が義務付けられました。

これに伴い、野々市市教育委員会では平成 20 年度より教育委員会の活動及び所管事務について、その管理及び執行状況の点検及び評価を行い公表しています。今後も委員会事業に伴う活動・事務に対する点検・評価を行い議会への提出や公表を通じて市民にわかりやすく教育委員会活動を説明していくとともに、個々の事務を検証・改善しながら、本市の教育基本方針の実現に向け、教育の充実と振興をめざします。

4. 教育委員会事務局機構図



V. 学 校 教 育

1. 基本目標及び基本的施策

(1) 基本目標

地域や学校の実態及び児童生徒の心身の発達の段階や特性を十分考慮して、確かな学力(知)、豊かな人間性(徳)、健康・体力(体)の調和のとれた育成をめざし、児童生徒に変化の激しいこれからの社会を生き抜くための「生きる力」を育成します。

(2) 基本的施策

① 「確かな学力」を身に付けた児童生徒の育成

- ・ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着、思考力・判断力・表現力、主体的に学ぶ態度の育成に努めます。
- ・ 運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進と体力の向上を図ります。
- ・ 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実に努めます。

② 関わりの中で「豊かな人間性」を育てる教育の推進

- ・ いじめ・不登校問題への対策を推進します。
- ・ 9年間を見通した情報モラル教育を推進します。
- ・ 規範意識や他人を思いやる心を育む道徳教育を推進します。
- ・ 家庭や地域での体験活動、異年齢集団による活動、ボランティア活動、障害のある人や外国の人との交流などを推進します。

③ 教育指導体制の充実と教職員の資質向上

- ・ 教職員研修・教育相談・教育支援等の教育センター機能の充実に努めます。
- ・ 学校運営の改善に資する学校評価の改善に努めます。
- ・ 学校研究の推進や研修の充実により、教職員の指導力の向上を図ります。

④ 教育環境の充実

- ・ 学校図書館の充実と利活用を推進します。
- ・ I C T環境の整備に取り組み、情報教育、教科指導における I C T活用、校務の情報化を推進します。
- ・ 児童生徒増に伴う校舎の大規模改造事業などの施設整備を行い、より良い学習環境の整備に努めます。

⑤ 地域に根ざした学校づくり

- ・ 「野々市市子ども憲章」をいかし、ふるさと教育を推進します。
- ・ 家庭や地域の人々との協力、学校間の連携や交流を進めるなど、開かれた学校づくりに努めます。

2. 市立小・中学校教育目標

野々市小学校

確かな学力と豊かな人間性を身に付けた、たくましい子を育てる。

- (1) 健康で やりぬく子
- (2) 心豊かな 考える子
- (3) よりよい社会を 築く子

御園小学校

未来をたくましく生きぬく人間の育成

笑顔いっぱいの学校

- (1) やさしく 思いやりをもって、人とかかわる子
- (2) かしこく 進んで学ぶ子
- (3) たくましく 健康に関心を持ち、心と体を鍛える子

菅原小学校

ゆめに向かって自ら学び心豊かでたくましい児童の育成

- (1) 考える子
- (2) 助け合う子
- (3) 粘り強い子

富陽小学校

「自ら考え、実践する子」の育成

～自ら考え、正しく判断し、実践力のある心豊かな子の育成～

- (1) かんがえる子（知）よく考え互いに学び合う子ども
- (2) やさしい子（徳）思いやりの心を持ち、助け合う子ども
- (3) たくましい子（体）健康でがんばりのきく子ども

館野小学校

「心豊かでたくましく、すすんで学び合う子」の育成

- (1) 明るく（徳）
 - ・いつも笑顔で接し、友達を思いやり、力を合わせる子
- (2) 正しく（知）
 - ・すすんで学び、高め合い、考えて正しく行動する子
- (3) たくましく（体）
 - ・健康な体と心を持ち、最後までやりぬくたくましい子

野々市中学校

「自主」 「実践」 「友愛」

「志を高くし、郷土を愛する生徒を育てる」

〈教育方針〉

- (1) 人間尊重の精神を基盤として、生徒と教師、生徒相互が互いに認め合う温かい人間関係を育む。
- (2) 基礎基本の定着を図り活用力を育てるとともに、自ら学ぶ意欲を持った生徒を育てる。
- (3) 生徒を主体とした教育活動の実践に努め、望ましい人間関係を築く力や自主的な態度を育てる。
- (4) 学校と家庭、地域の連携を深め、学校や地域に誇りを持った生徒を育てる。

布水中学校

「 向上 独立 自律 友愛 公德 」

高い理想を持ち、新しい未来社会に役立つ実力を身に付けた生徒の育成

〈教育方針〉

- (1) 確かな学力と体力を身に付け、未来への創造に向かって、自らを高める意欲を持つ生徒の育成
- (2) 義務と責任をわきまえ、自主独立の気質と行動力を持つ生徒の育成
- (3) 正義を愛し、正しい判断力をもち、厳しく自律することのできる生徒の育成
- (4) 互いに敬愛し、信じ合い、切磋琢磨して美しい友情を温め得る生徒の育成
- (5) ルールを守り、環境の浄化に努め、郷土を愛する豊かな情操に満ちた生徒の育成

小学校の校名の由来、校旗及び校章の意味



市内小学校5校の校章、校旗は雪の結晶と麻の葉っぱを図案化したものに市章を組み合わせたものです。

雪の結晶はけがれのない素直さを表わし、麻の葉っぱは、雨に濡ればますます強くなる麻の繊維のように、何ごとにもくじけず最後まで頑張り抜く強い心を象徴したものです。

野々市小学校

昭和36年4月1日、野々市小学校と富奥小学校が統合する際、親しまれるように町名の野々市町をとり、この校名が付けられました。翌年には、郷小学校が野々市小学校と統合しました。

校旗の色は、緑です。

御園小学校

当校の建設地一帯は、耕地整理前の小高い丘であり、古老達はその一帯をみそのと伝え聞いてきました。その丘には大桜があり、住民の憩いの場所だったということです。また、みそのとは、過去に献穀田があったためと言われています。昔から親しまれてきた地名をとり、この校名が付けられました。

校旗の色は、紺です。

菅原小学校

昭和39年に、野々市町本町の一部からできた菅原町に当校を建設したため、一般に親しまれている地名をとり、この校名が付けられました。

また、菅原の地名は、平安時代に加賀権守を兼任した菅原道真公を、天神、田の神として祀ったことに由来しています。

校旗の色は、赤です。

富陽小学校

歴史古き富樫郷の南に位置し、四季に富む里に子どもたちが豊かな希望をもち、健やかに学び、太陽の子のように明るくたくましく育つことを願って、この校名が付けられました。

校旗の色は、黄色です。

館野小学校

当校の運動場と隣接地は、古からタチナカと呼ばれ、中世に隆盛をとげた加賀守護富樫一族の富樫家善の館が確認されました。校名は、このゆかりのある土地で児童が伸び伸びと健やかに育つことを願い名づけられました。

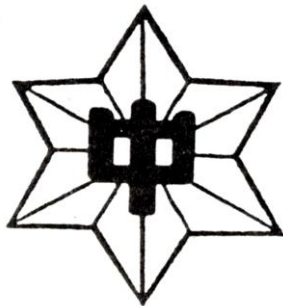
校旗の色は、紫です。

中学校の校名の由来、校旗及び校章の意味

野々市中学校

昭和31年3月31日町村合併により、石川県石川郡野々市町立野々市中学校と石川県石川郡富奥村立富奥中学校が廃校となり、昭和31年4月1日より新たに石川県石川郡野々市町立野々市中学校が設置されました。当時、町に一校の中学校であったため、町名をそのままとってこの校名が付けられました。

翌年には、旧石川郡押野村の御経塚・野代・押越・押野丸木が野々市町へ編入しました。



校旗はスクールカラーの茄紺色で染め抜いてあり、校章は麻の葉を図案化したものです。

野々市市は、古くは麻の栽培が盛んな所でした。麻は非常に成長が速く、強い繊維で水を含むと更に強度を増します。また、これで織った布は高貴な感じがします。

このような麻の特性から、本校の生徒が麻のように「誰からも好かれ」、「大きく、強く」成長して「上品さと誇り」を持ち、苦境に立ったとき更に「勇気ある人間」になることを町の皆が願い、その葉を図案化しました。

布水中学校

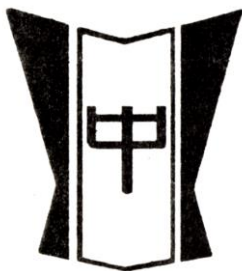
布は布市の「布」であり、布は白く汚れなく人々を優しく包み、また校舎の横を流れる木呂川は霊峰白山の水を受け清くさらさらとさわやかに流れ、時として急流と化すたくましさがあります。

ここに学ぶ生徒は、白妙のごとく汚れなく優しく人をいたわり、清流のごとく清らかで、また激流にも耐える心と体を培い、学び、励むことを願い、この校名が付けられました。

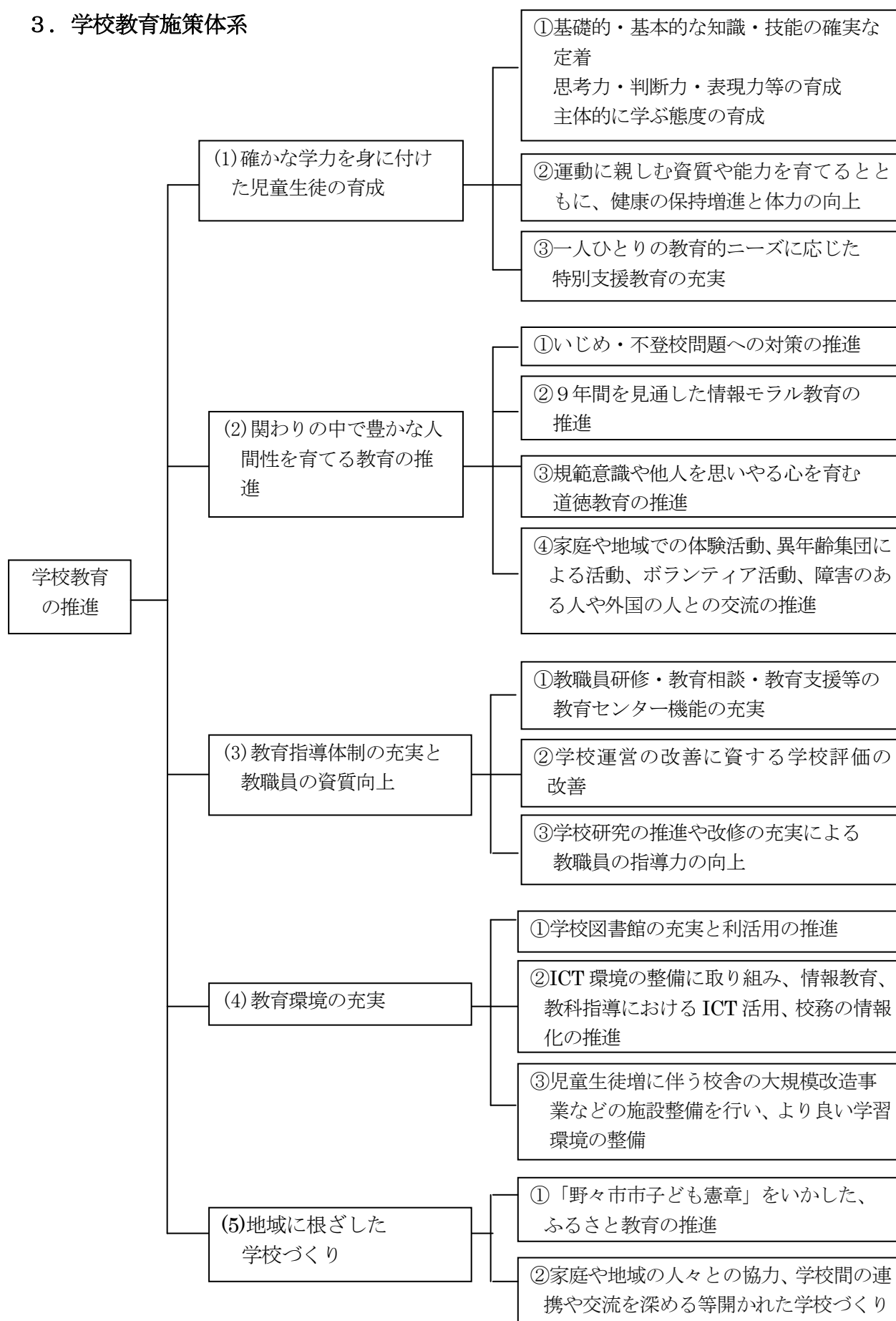
校旗はスクールカラーの水色に近い青色と白色を組み合わせました。

校章は布水中学校の水の文字を図案化したもので、左右対象で縦長の形は、向上を表現しています。

襟章の色は、青は若い力、白は誠実、赤は友愛を表現しています。



3. 学校教育施策体系



(1) 教育活動

① 情報教育

ア 情報教育の環境整備

市内小中学校のすべての普通教室、特別教室にネットワークを構築し、コンピュータを設置することにより、いつでも、どこでも、コンピュータやインターネット等が活用できる環境を整備します。

平成12年度	校内LANの整備
平成18年度	中学校2校パソコン教室コンピュータ等更新
平成20年度	小学校5校パソコン教室コンピュータ等更新 小学校5校へ授業支援システムの導入と情報教育支援員の配置 小中学校7校に学校図書館蔵書管理システムの導入
平成21年度	全教職員に校務用コンピュータ配置
平成25年度	中学校2校パソコン教室コンピュータ等更新
平成28年度	小中学校7校校務用コンピュータ更新
平成29年度	小学校5校パソコン教室コンピュータ等更新 普通教室に電子黒板・タブレットの整備（4カ年計画）

イ 教育情報ネットワークの構築

平成21年度 小中学校教職員全員にコンピュータを配置し、LANにより学校内での教育情報の共有化を図りました。

② 特別支援教育

ア 特別支援教育支援員の配置

市内小中学校に22名配置。発達障害など個別に支援が必要な児童生徒を中心に支援します。

③ 学校図書館

ア 小・中学校図書館の整備

学校図書館業務として、小中学校に学校司書を各1名配置。また、図書購入予算の充実に努めます。

平成15年度	学校司書の配置時間の拡大、全学校図書館にエアコン設置
平成17年度	学校司書の雇用形態の改善（臨時職員から嘱託職員へ雇用形態を変更）
平成20年度	小中学校7校に学校図書館蔵書管理システムの導入
平成28年度	中学校2校図書館コンピュータ等更新
平成29年度	小学校5校図書館コンピュータ等更新
平成30年度	野々市小学校図書館コンピュータ追加導入（予定）

④ 国際理解

ア 国際交流事業

国際化の進む中、諸外国の人々と交流し、協力し合うことの重要性が確認される今日、次の世代を担う児童に国際的な視野をもってもらうことを目的とし、昭和60年の野々市小学校と深圳小学との友好校締結以来、交流事業を行っています。

平成22年度	中国深圳小学へ教育友好訪問団の派遣	児童12名	引率他9名
平成23年度	中国深圳小学より教育友好訪問団の招致	児童11名	引率他10名
平成24年度	中国深圳小学へ教育友好訪問団の派遣	中止	

平成25年度	中国深圳小学より教育友好訪問団の招致	児童12名	引率他7名
平成26年度	中国深圳小学へ教育友好訪問団の派遣	児童12名	引率他10名
平成27年度	中国深圳小学より教育友好訪問団の招致	児童12名	引率他7名
平成28年度	中国深圳小学へ教育友好訪問団の派遣	児童12名	引率他11名
平成29年度	中国深圳小学より教育友好訪問団の招致	児童18名	引率他10名
平成30年度	中国深圳小学へ教育友好訪問団の派遣	児童12名	引率他10名（予定）

イ 小学校外国語活動の推進

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の育成をめざします。

3～4年生 15 時間程度の実施

5～6年生 50 時間程度の実施

各校に週平均4回、外国語指導助手（ALT）を派遣します。

ウ 外国語指導助手の招致（中学校）

外国語教育、とりわけ英語の教育は、国際化が進む環境の中でその重要性が高まっています。外国語指導助手による生きた英語にふれ、語学力の向上を図るとともに国際化時代に対応した知識、感覚の向上を図ります。

外国語指導助手（ALT）2名（中学校2校に1名ずつ派遣）

⑤ 生徒指導（いじめ・不登校等）

ア 派遣教育相談員配置事業

不登校およびその傾向にある児童生徒とその保護者に対し、教育相談や学校生活への適応指導にあたります。平成24年度から中学校に配置。平成29年度から小学校に2名配置。

イ スクールカウンセラー活用事業

不登校やいじめなど児童生徒の問題行動等に対応するため、臨床心理士等をスクールカウンセラーとして配置し、児童生徒へのカウンセリング、教職員や保護者に助言します。

平成30年度派遣校 野々市小学校、御園小学校、菅原小学校、富陽小学校、館野小学校
野々市中学校、布水中学校（県より派遣）

ウ 教育相談

- ・不登校及びその傾向を示す児童生徒の相談
- ・子どもの悩みや不安に関する保護者の相談
- ・教職員の相談

エ 教育支援センター「ふれあい教室」

悩みを抱えていたり、心が不安定で学校に居場所を失っている児童生徒を支援します。そして、安心できる居場所の中で、自己のペースを取り戻し、様々な体験活動を通して社会性を身に付け、社会的自立や学校復帰をめざします。

(2) 児童・生徒

① 就学援助

経済的理由により困窮していると認められる児童・生徒の保護者に対して必要な援助を行い義務教育の円滑な実施を図ります。

就学援助費（受給者）	528 名	42,218 千円（平成 29 年度実績）
入学準備支援金（受給者）	97 名	4,258 千円（平成 29 年度実績）
特別支援教育就学奨励費（受給者）	36 名	2,449 千円（平成 29 年度実績）

② 学校保健

児童生徒が健康で、健やかな生活が送れるよう各種の健康診断を実施します。

平成 30 年度 学校保健事業

時 期	事 業	対 象	
		小学校	中学校
4 月～6 月	◎ 身体計測 ◎ 聴力検査 ◎ 視力検査 ◎ 内科 ◎ 歯科検診 ◎ 耳鼻科検診 ◎ 眼科検診	全 員 1 年～5 年 全 員 全 員 全 員 1・4 年 1 年生・問診に より必要な者	全 員 1 年、3 年 全 員 全 員 全 員 1 年 問診により必 要な者
6 月	◎ 結核検診（問診） ◎ 心臓検診 ◎ 尿検査	全 員 1 年 全 員	全 員 1 年 全 員
9 月	◎ 血液検査（貧血・コレステロール・肝機能等）	—	2 年（希望者）
9 月下旬～10 月	◎ 身体計測 ◎ 就学時健診	全 員 就学予定者	全 員 —
1 月	◎ 視力検査 ◎ 身体計測	全 員 全 員	全 員 全 員

③ 学校給食

安全・安心の学校給食の提供

地元産物の積極的活用

学校給食と連携した食に関する指導

平成 26 年 9 月よりすべての小中学校の給食をセンター化

平成 27 年 1 月より小学校給食センターでアレルギー除去食に対応

(3) 教育環境

① 教育環境

ア 学校の施設整備

小中学校の保守管理を計画的に進め、ゆとりある施設の充実を図ります。

- ・平成12～13年度 御園小学校地震補強・大規模改造工事
- ・平成12～17年度 図書室・職員室・給食室等のエアコン設置工事
- ・平成13～14年度 野々市町学校給食センター建設工事
- ・平成14～15年度 野々市中学校地震補強・大規模改造工事（第1期）
- ・平成15年度 野々市小学校耐力度調査
- ・平成16年度 菅原小学校耐震診断
- ・平成16～17年度 野々市中学校地震補強・大規模改造工事（第2期）
- ・平成17年度 布水中学校屋上防水工事
- ・平成18年度 館野小学校増築等工事、P F I 導入可能性調査
- ・平成19年度 野々市小学校施設整備事業（P F I 事業 実施方針等公表）
菅原小学校地震補強・大規模改造工事实施設計
富陽小学校音楽室エアコン設置工事
- ・平成20年度 菅原小学校地震補強等工事
御園小学校屋内運動場耐震診断
学校給食センター増築等工事实施設計
野々市小学校施設整備事業（P F I 事業 事業者選定・基本設計）
- ・平成21年度 野々市小学校施設整備事業（P F I 事業 実施設計・建設工事）
菅原小学校地震補強等工事
学校給食センター増築等工事
御園小学校屋内運動場地震補強等工事实施設計
野々市中学校屋内運動場耐震診断、地震補強等工事实施設計
- ・平成22年度 野々市小学校施設整備事業（P F I 事業 建設工事）
御園小学校屋内運動場地震補強等工事
野々市中学校屋内運動場地震補強等工事
富陽小学校増築等工事实施設計
小学校給食センターP F I 導入可能性調査
- ・平成23年度 富陽小学校増築等工事
（仮称）野々市市小学校給食センター施設整備・運営事業（P F I 事業 実施方針等公表）
館野小学校普通教室空調機器設置工事
- ・平成24年度 富陽小学校増築等工事
（仮称）野々市市小学校給食センター施設整備・運営事業（P F I 事業 事業者選定・基本設計・実施設計）
布水中学校大規模改造等工事（実施設計・工事）
野々市中学校校舎空調設置工事（実施設計）
野々市中学校障害者対策工事（実施設計・工事）

- ・平成25年度 野々市市小学校給食センター施設整備・運営事業（P F I 事業 工事）
布水中学校大規模改造等工事（Ⅰ期）
野々市中学校校舎空調設置工事
野々市中学校障害者対策工事
- ・平成26年度 野々市市小学校給食センター施設整備・運営事業（P F I 事業 工事）
館野小学校保健室空調機取替え
富陽小学校手摺り設置工事
布水中学校大規模改造工事（Ⅱ期）
野々市中学校防排煙設備更新
- ・平成27年度 御園小学校教室改造工事
御園小学校職員室等改修工事
御園小学校障害者対策工事
- ・平成28年度 御園小学校空調設置工事
菅原小学校プールろ過機取替工事
野々市小学校校舎増築工事（P F I 事業）
野々市小学校、野々市中学校天井等落下防止対策工事
- ・平成29年度 館野小学校大規模改造工事（Ⅰ期）
野々市中学校プールろ過機取替工事

イ 安全管理の充実

子どもたちの安全確保のための必要な条件整備の充実を図ります。

- ・来校者への対応や登下校時の安全確保
- ・学校開放時における安全対策
- ・学校、家庭、地域、関係機関と連携しながら学校の管理体制の確立

ウ 学校備品の充実

豊かな教育環境の現実のため、備品・教材教具の充実に努めます。

② 幼児教育の助成

ア 幼児教育の充実

幼稚園教育の振興に資するため補助を行います。

私立幼稚園就園奨励費	491名	63,775千円	（平成29年度実績）
私立幼稚園運営費補助金	市内2園	2,545千円	（平成29年度実績）

(4) 研 修

① 教職員研修

今日的教育課題に対応した研修や専門的な知識・能力をより一層身につけることにより、教員の資質や指導力の向上を図ります。

- ・学校経営研修
- ・初任者研修
- ・新任者研修
- ・対応力指導力向上研修
- ・学校研究研修
- ・授業づくり研修
- ・児童生徒理解研修
- ・教育相談コーディネーター研修
- ・特別支援教育支援員研修 など

4. 教育施設

(1) 学校施設

(平成30年5月1日現在)

区分	施設名	設置年月日	敷地面積	建物構造規模 (保有面積)
小学校	野々市小学校	昭和36年4月	16,620㎡	校舎 R4階 8,498㎡ 体育館 R 1,571㎡
	御園小学校	昭和53年4月	19,937㎡	校舎 R4階 5,366㎡ 体育館 R 1,410㎡
	菅原小学校	昭和56年4月	17,534㎡	校舎 R4階 5,755㎡ 体育館 R 1,667㎡
	富陽小学校	昭和57年4月	21,757㎡	校舎 R3階 8,572㎡ 体育館 R 1,875㎡
	館野小学校	昭和59年4月	20,089㎡	校舎 R4階 5,802㎡ 体育館 R 1,489㎡
中学校	野々市中学校	昭和31年4月	24,016㎡	校舎 R4階 7,938㎡ 体育館 R 2,163㎡
	布水中学校	昭和59年4月	28,262㎡	校舎 R4階 7,233㎡ 体育館 R 2,199㎡
野々市市中学校給食センター 野々市市小学校給食センター		平成15年4月 平成26年8月	7,238㎡	R2階 1,399㎡ S2階 1,830㎡
教育センター		平成5年3月	546㎡	R2階 644㎡

公立学校施設の実態調査より（教育センター除く）



野々市小学校



御園小学校



菅原小学校



富陽小学校



館野小学校



野々市中学校



布水中学校



小学校給食センター



教育センター

(2) 通学区域

学 校 名	通 学 区 域
野々市小学校 本町五丁目3番1号 ☎ 248-0084	本町四～六丁目、若松町(22、23番)、白山町、三納一～三丁目、位川、太平寺一～四丁目、堀内一～五丁目、田尻町、郷町、郷一・二丁目、蓮花寺町、柳町、徳用一～三丁目
御園小学校 稲荷四丁目128番地 ☎ 248-3201	稲荷一～四丁目、三日市一～三丁目、二日市一～五丁目、二日市町、長池、押越一～二丁目、野代一～三丁目、御経塚一～五丁目
菅原小学校 菅原町20番1号 ☎ 246-6066	本町二～三丁目、高橋町、扇が丘、住吉町、菅原町、矢作一～四丁目
富陽小学校 中林五丁目70番地 ☎ 246-4380	上林一～五丁目、中林一～五丁目、末松一～三丁目、藤平、藤平田一～二丁目、清金一～三丁目、下林一～四丁目、新庄一～六丁目、栗田一～六丁目
館野小学校 押野三丁目71番地 ☎ 248-0622	本町一丁目、若松町(1～21、24、25番)、横宮町、押野一～七丁目
野々市中学校 三納三丁目1番地 ☎ 246-0115	本町五丁目、扇が丘、菅原町、住吉町、白山町、三納一～三丁目、藤平、位川、清金一～三丁目、末松一～三丁目、太平寺一～四丁目、栗田一～六丁目、下林一～四丁目、新庄一～六丁目、藤平田一～二丁目、中林一～五丁目、上林一～五丁目、矢作一～四丁目
布水中学校 押野二丁目100番地 ☎ 248-0039	本町一～四丁目、本町六丁目、若松町、横宮町、高橋町、稲荷一～四丁目、堀内一～五丁目、田尻町、三日市一～三丁目、二日市町、二日市一～五丁目、徳用一～三丁目、郷町、郷一・二丁目、蓮花寺町、柳町、長池、押野一～七丁目、押越一～二丁目、野代一～三丁目、御経塚一～五丁目

(3) 市立小・中学校別学級数・児童生徒数及び教職員数

平成30年5月1日現在 学校基本調査より(単位:人)

区 分	学級数	児 童 生 徒 数			教 員 数			職員数
		男	女	総数	男	女	総数	
野々市小学校	30(3)	420	402	822	18	21	39	6
御園小学校	21(2)	325	329	654	15	15	30	3
菅原小学校	18(3)	235	229	464	10	16	26	3
富陽小学校	34(4)	516	460	976	17	34	51	5
館野小学校	17(2)	204	211	415	11	12	23	3
小学校計	120(14)	1,700	1,631	3,331	71	98	169	20
野々市中学校	23(3)	363	361	724	21	24	45	4
布水中学校	21(3)	334	323	657	22	19	41	4
中学校計	44(6)	697	684	1,381	43	43	86	8
合 計	164(20)	2,397	2,315	4,712	114	141	255	28

※注()は特別支援学級再掲

(4) 市立小学校数・学級数・児童数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学校数	学級数	児 童 数			教 員 数			職 員 数		
			男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
26	5	104(12)	1,510	1,485	2,995	68	95	163	—	30	30
27	5	108(14)	1,571	1,514	3,085	70	92	162	—	17	17
28	5	113(14)	1,615	1,564	3,179	70	105	175	1	17	18
29	5	116(14)	1,651	1,583	3,234	73	101	174	—	17	17
30	5	120(14)	1,700	1,631	3,331	71	98	169	—	20	20

※注1（ ）は特別支援学級再掲 ※注2 職員数に臨時職員は含めない。

(5) 特別支援学級の状況

平成30年5月1日現在（単位：人）

学校名	種別	学級数	児童生徒数	教員数
野々市小学校	知的障害	1	8	1
	自閉症・情緒障害	1	8	1
	肢体不自由	1	1	1
御園小学校	知的障害	1	5	1
	自閉症・情緒障害	1	7	1
菅原小学校	知的障害	1	2	1
	自閉症・情緒障害	1	3	1
	肢体不自由	1	2	1
富陽小学校	知的障害	1	6	1
	自閉症・情緒障害	1	5	1
	肢体不自由	1	1	1
	弱視	1	1	1
館野小学校	知的障害	1	4	1
	自閉症・情緒障害	1	3	1
野々市中学校	知的障害	1	1	1
	自閉症・情緒障害	1	4	1
	肢体不自由	1	1	1
布水中学校	知的障害	1	2	1
	自閉症・情緒障害	1	4	1
	肢体不自由	1	1	1

(6) 市立中学校数・学級数・生徒数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学校数	学級数	生 徒 数			教 員 数			職 員 数		
			男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
26	2	43(5)	699	643	1,342	44	42	86	—	8	8
27	2	43(5)	698	679	1,377	44	41	85	—	7	7
28	2	42(4)	690	673	1,363	41	40	81	—	6	6
29	2	43(5)	703	692	1,395	39	44	83	—	8	8
30	2	44(6)	697	684	1,381	43	43	86	—	8	8

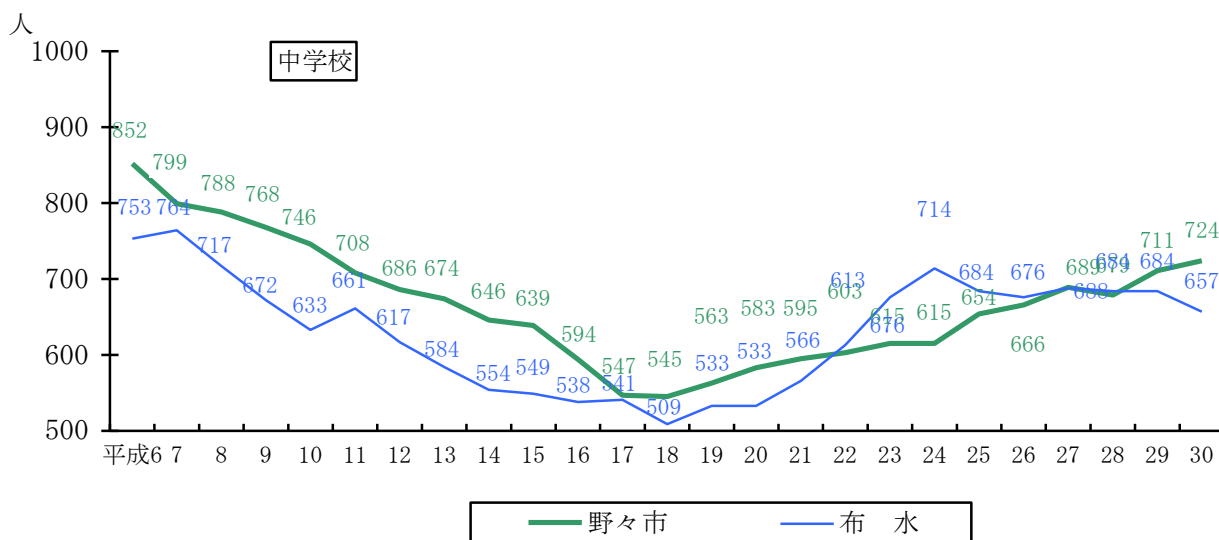
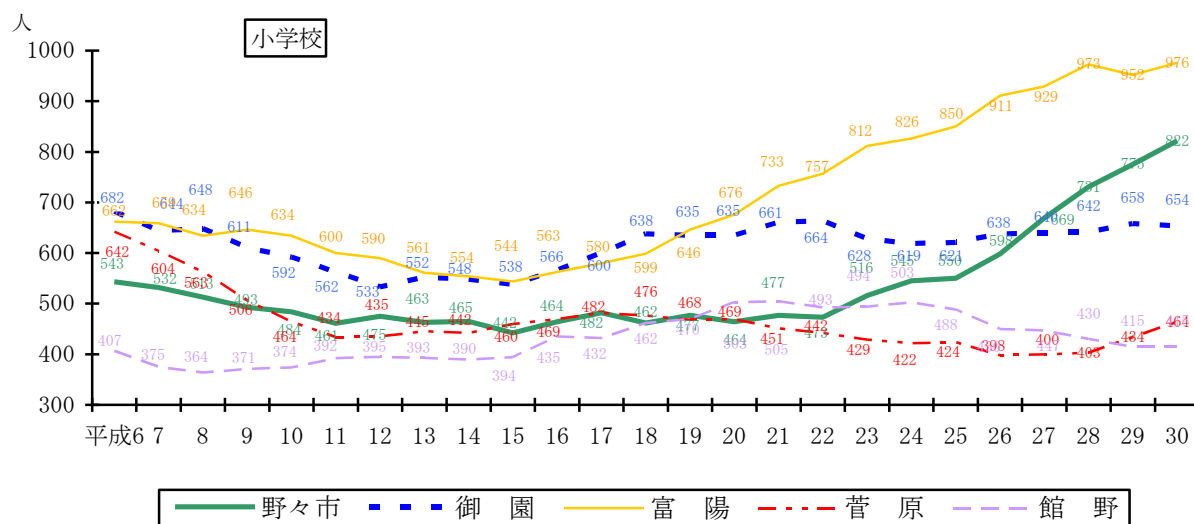
※注1（ ）は特別支援学級再掲 ※注2 職員数に臨時職員は含めない。

(7) 中学校卒業生進路状況

各年5月1日現在(単位:人)

年	卒業生計 (B+C+D+E+F) A	高等学校 等進学者 B	専修学校 (高等課程) 進学者 C	専修学校 (一般課程) 等入学者 D	就 職 者 E	無業者・ そ の 他 F	左記B、C、Dのうち 就職している者 G		高等学校 等進学率 〔B/A〕	就職率 〔(E+G)/A〕
							Bのうち	C、Dのうち		
26	446	443	—	—	2	1	—	—	99.3	0.4
27	437	432	—	—	1	4	—	—	98.9	0.2
28	454	449	—	1	0	4	—	—	98.9	0
29	441	436	—	—	1	4	—	—	98.9	0.2
30	468	464	—	—	1	2	—	—	99.1	0.2

(8) 児童・生徒の推移(各年5月1日現在)



(9) 私立幼稚園学級数・園児数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

施設名	年度	学級数	園児数			教員数			職員数		
			男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
扇が丘幼稚園 北陸学院	26	3	54	32	86	—	10	10	—	—	—
	27	3	53	31	84	—	11	11	—	—	—
	28	3	48	34	82	—	12	12	—	—	—
	29	4	35	44	79	—	11	11	—	1	1
	30	4	37	50	87	—	11	11	—	1	1
青竜第二幼稚園	26	11	89	70	159	3	15	18	1	—	1
	27	11	82	69	151	2	15	17	1	—	1
	28	9	76	63	139	1	14	15	1	—	1
	29	10	68	65	133	1	14	15	1	—	1
	30	8	62	51	113	—	19	19	1	—	1

資料：北陸学院扇が丘幼稚園（臨時職員を含む）・青竜第二幼稚園

(10) 石川県立明和特別支援学校学級数・児童・生徒数及び教職員数

※平成22年4月1日より開校

各年5月1日現在（単位：人）

年度	部門名	学級数	児童生徒数			教員数			職員数
			男	女	総数	男	女	総数	
26	肢体不自由教育	8	8	8	16	51	100	151	29
	知的障害教育	56	198	71	269				
27	肢体不自由教育	8	9	8	17	55	93	148	29
	知的障害教育	53	204	64	268				
28	肢体不自由教育	7	5	8	13	50	87	137	23
	知的障害教育	52	192	68	260				
29	肢体不自由教育	8	6	8	14	50	89	139	24
	知的障害教育	53	206	77	283				
30	肢体不自由教育	7	5	5	10	57	95	152	24
	知的障害教育	58	226	88	314				

資料：石川県立明和特別支援学校

(11) 石川県立野々市明倫高等学校学級数・生徒数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学級数	生徒数			教員数			職員数
		男	女	総数	男	女	総数	
26	22	419	453	872	38(4)	15(7)	53(11)	7
27	22	422	446	868	40(3)	17(5)	57(8)	9
28	23	453	456	909	42(4)	15(5)	57(9)	8
29	22	442	433	875	40(5)	16(4)	56(9)	8
30	22	443	433	876	44(3)	13(5)	57(8)	8

資料：石川県立野々市明倫高等学校

※注（ ）内は講師で外数

(12) 石川県公立大学法人石川県立大学学生数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学 生 数			教 員 数			職員数
	男	女	総数	男	女	総数	
26	293	300	593	57	10	67	23
27	286	293	579	57	10	67	23
28	290	301	591	57	10	67	20
29	303	289	592	58	8	66	23
30	312	294	606	55	8	63	22

資料：石川県公立大学法人石川県立大学

※注 学生数に院生数を含む。

(13) 石川県公立大学法人石川県立大学学科別学生数

学部

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学 部 名	学 科 名	1 年	2 年	3 年	4 年	総 数
26	生物資源 環境学部	総数	133	136	140	146	555
		生産科学科	43	44	48	48	183
		環境科学科	46	47	44	48	185
		食品科学科	44	45	48	50	187
27	生物資源 環境学部	総数	133	130	145	130	538
		生産科学科	46	41	47	45	179
		環境科学科	47	46	53	40	186
		食品科学科	40	43	45	45	173
28	生物資源 環境学部	総数	138	132	142	134	546
		生産科学科	46	45	43	43	177
		環境科学科	45	47	52	46	190
		食品科学科	47	40	47	45	179
29	生物資源 環境学部	総数	135	139	150	129	553
		生産科学科	46	46	48	41	181
		環境科学科	47	45	59	43	194
		食品科学科	42	48	43	45	178
30	生物資源 環境学部	総数	139	135	148	136	558
		生産科学科	46	46	51	44	187
		環境科学科	46	47	49	52	194
		食品科学科	47	42	48	40	177

資料：石川県公立大学法人石川県立大学

大学院

各年5月1日現在（単位：人）

年度	研 究 科 名	学 科 名	1 年	2 年	3 年	総 数
26	生物資源環境学 研究科	総 数	16	18	4	38
		博 士 前 期 課 程	13	15	—	28
		生 産 科 学 専 攻	4	3	—	7
		環 境 科 学 専 攻	2	9	—	11
		食 品 科 学 専 攻	5	—	—	5
		応 用 生 命 科 学 専 攻	2	3	—	5
		博 士 後 期 課 程	3	3	4	10
		自然人間共生科学専攻	2	3	1	6
		生物機能開発科学専攻	1	—	3	4
27	生物資源環境学 研究科	総 数	23	15	3	41
		博 士 前 期 課 程	20	11	—	31
		生 産 科 学 専 攻	1	2	—	3
		環 境 科 学 専 攻	5	2	—	7
		食 品 科 学 専 攻	10	5	—	15
		応 用 生 命 科 学 専 攻	4	2	—	6
		博 士 後 期 課 程	3	4	3	10
		自然人間共生科学専攻	1	3	2	6
		生物機能開発科学専攻	2	1	1	4
28	生物資源環境学 研究科	総 数	17	24	4	45
		博 士 前 期 課 程	14	21	—	35
		生 産 科 学 専 攻	1	1	—	2
		環 境 科 学 専 攻	1	5	—	6
		食 品 科 学 専 攻	7	11	—	18
		応 用 生 命 科 学 専 攻	5	4	—	9
		博 士 後 期 課 程	3	3	4	10
		自然人間共生科学専攻	3	1	3	7
		生物機能開発科学専攻	0	2	1	3
29	生物資源環境学 研究科	総 数	19	18	2	39
		博 士 前 期 課 程	18	15	—	33
		生 産 科 学 専 攻	2	1	—	3
		環 境 科 学 専 攻	2	4	—	6
		食 品 科 学 専 攻	6	6	—	12
		応 用 生 命 科 学 専 攻	8	4	—	12
		博 士 後 期 課 程	1	3	2	6
		自然人間共生科学専攻	1	3	—	4
		生物機能開発科学専攻	—	—	2	2
30	生物資源環境学 研究科	総 数	23	22	3	48
		博 士 前 期 課 程	20	19	—	39
		生 産 科 学 専 攻	6	2	—	8
		環 境 科 学 専 攻	6	3	—	9
		食 品 科 学 専 攻	4	6	—	10
		応 用 生 命 科 学 専 攻	4	8	—	12
		博 士 後 期 課 程	3	3	3	9
		自然人間共生科学専攻	2	2	3	7
		生物機能開発科学専攻	1	1	—	2

資料：石川県公立大学法人石川県立大学

(14) 国際高等専門学校学級数・生徒数及び教職員数

※平成30年4月1日より名称変更

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学級数	生徒数			教員数			職員数
		男	女	総数	男	女	総数	
26	15	511	57	568	45	10	55	15
27	15	508	57	565	45	8	53	16
28	15	499	51	550	48	12	60	16
29	15	442	45	487	47	13	60	17
30	13	346	36	382	55	11	66	18

資料：国際高等専門学校

(15) 国際高等専門学校学科別生徒数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学 科 名	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	総 数
26	総 数	116	110	121	121	100	568
	電 気 電 子 工 学 科	40	31	34	44	38	187
	機 械 工 学 科	42	39	39	41	31	192
	電 気 情 報 工 学 科	—	—	—	—	—	—
	グ ロ ー バ ル 情 報 工 学 科	34	40	48	36	31	189
	国際コミュニケーション情報工学科	—	—	—	—	—	—
27	総 数	114	113	109	117	112	565
	電 気 電 子 工 学 科	30	40	30	33	42	175
	機 械 工 学 科	39	40	40	39	35	193
	グ ロ ー バ ル 情 報 学 科	45	—	—	—	—	45
	グ ロ ー バ ル 情 報 工 学 科	—	33	39	45	35	152
28	総 数	114	110	106	107	113	550
	電 気 電 子 工 学 科	33	30	40	26	32	161
	機 械 工 学 科	33	37	36	40	39	185
	グ ロ ー バ ル 情 報 学 科	48	43	—	—	—	91
	グ ロ ー バ ル 情 報 工 学 科	—	—	30	41	42	113
29	総 数	81	104	106	93	103	487
	電 気 電 子 工 学 科	25	29	29	36	24	143
	機 械 工 学 科	26	30	36	30	39	161
	グ ロ ー バ ル 情 報 学 科	30	45	40	—	—	115
	グ ロ ー バ ル 情 報 工 学 科	—	—	1	27	40	68
30	総 数	12	81	100	106	83	382
	電 気 電 子 工 学 科	—	26	26	30	31	113
	機 械 工 学 科	—	25	30	37	26	118
	グ ロ ー バ ル 情 報 学 科	—	30	44	39	—	113
	グ ロ ー バ ル 情 報 工 学 科	—	—	—	—	26	26
	国 際 理 工 学 科	12	—	—	—	—	12

資料：国際高等専門学校

(16) 金沢工業大学学生数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学 生 数			教 員 数			職員数
	男	女	総数	男	女	総数	
26	6,676	724	7,400	314	37	351	204
27	6,663	755	7,418	318	36	354	216
28	6,566	782	7,348	314	34	348	218
29	6,285	800	7,085	302	34	336	217
30	6,192	831	7,023	298	34	332	225

資料：金沢工業大学

※注 学生数には専攻科、研究生、科目等履修生、院生を含む。

ただし、学部特別聴講生（社会人共学者）数（16名）、大学院科目等履修生（特別聴講学生）数（32名）は「金沢工業大学学科別学生数」に欄がないため含まない。

(17) 金沢工業大学学科別学生数

5月1日現在（単位：人）

年度	学部・学科名等			1年次	2年次	3年次	4年次	計	
30	学部	工学部	機 械 工 学 科	206	234	246	209	895	
			航 空 シ ス テ ム 工 学 科	73	69	68	62	272	
			ロ ボ テ ィ ク ス 学 科	125	115	116	134	490	
			電 気 電 子 工 学 科	262	180	205	190	837	
			電 子 情 報 通 信 工 学 科	1	41	37	34	113	
			情 報 工 学 科	268	210	241	200	919	
		情報フロンティア学部	環 境 土 木 工 学 科	98	-	-	-	98	
			メ デ ィ ア 情 報 学 科	160	163	140	142	605	
			経 営 情 報 学 科	59	35	50	68	212	
			心 理 科 学 科（※）	57	36	46	51	190	
		建築学部	建 築 学 科	249	-	-	-	249	
		バイオ・化学部	応 用 化 学 科	69	68	69	68	274	
			応 用 バ イ オ 学 科	73	81	72	94	320	
		環境・建築学科	環 境 土 木 工 学 科	1	88	91	76	256	
			建 築 学 科	2	102	129	118	351	
			建 築 デ ザ イ ン 学 科	2	159	141	130	432	
			建 築 都 市 デ ザ イ ン 学 科	-	-	1	-	1	
	計			1705	1581	1652	1576	6514	
	大学院	修士課程	機 械 工 学 専 攻	61	65			126	
			環 境 土 木 工 学 専 攻	9	8			17	
			情 報 工 学 専 攻	19	10			29	
			電 気 電 子 工 学 専 攻	36	41			77	
			システム設計工学専攻	6	9			15	
			バ イ オ ・ 化 学 専 攻	16	25			41	
			建 築 学 専 攻	18	26			44	
			高信頼ものづくり専攻	2	9			11	
			ビジネスアーキテクト専攻	1	1			2	
			知的創造システム専攻	専攻廃止					
			臨 床 心 理 学 専 攻	6	5			11	
		イノベーションマネジメント専攻	79	-			79		
		計		253	199			452	
		博士課程	機 械 工 学 専 攻	1	1	1		3	
			環 境 土 木 工 学 専 攻			1		1	
情 報 工 学 専 攻				1	1		2		
電 気 電 子 工 学 専 攻					1		1		
システム設計工学専攻				1	2		3		
バ イ オ ・ 化 学 専 攻									
建 築 学 専 攻					1		1		
高信頼ものづくり専攻					3		3		
計		1	3	10		14			
専攻科			1				1		
計			1				1		
研究生（学部）			1				1		
研究生（大学院）			3				3		
科目等履修生（学部）			1				1		
科目等履修生（大学院）			37				37		
	計			42				42	

(※) 平成30年4月より心理情報学科から心理科学科に名称変更

VI. 生涯学習

1. 基本目標及び基本的施策

(1) 基本目標

自らが生きがいのある充実した生活を送るため、全ての市民が自主的に生涯にわたって学習を継続できる体制整備を推進します。

家庭や地域の教育力の充実を図りながら、子どもたちが、家庭や地域で他人を思いやる心、たくましい心を育むなど、生きる力の醸成をめざします。

(2) 基本的施策

① 家庭教育・子育て支援の充実

- ・ 家庭教育指針「ののいち元気家族三か条」を活用しながら、基本的生活習慣や家庭教育の大切さを啓発します。
- ・ 子育て支援や子育て相談体制の充実を図るため、家庭教育サポーターの育成に努めるとともに家庭教育力を高めるため、保護者を対象に家庭教育の大切さを学ぶ学習機会の充実に努めます。

② 青少年の健全育成

- ・ 青少年問題協議会の開催など、健全育成の課題について調査・研究に努めます。
- ・ 成人式や立志式の開催を通して、青少年の健全育成活動を推進します。
- ・ 街頭巡視やWebサイトの巡視など、子どもの問題行動の抑止と有害環境から子どもを守る取り組みを推進します。
- ・ 自然体験活動などを通して、子どもたちがたくましく生きる力や豊かな人間性を育みます。
- ・ 子ども会育成連絡協議会やPTA連合会など、社会教育団体の活動を支援します。
- ・ 青少年ボランティア団体の活動を支援します。
- ・ 「“ののいちっ子を育てる” 市民会議」を中心とした健全育成事業を学校・家庭・地域と連携を図りながら事業を推進します。

③ 家庭・地域・学校が一体となった教育力の向上

- ・ 放課後子ども教室など、地域での安全で安心な子どもの居場所づくりの取り組みを推進します。
- ・ 地元企業や大学と連携して、地域の教育活動の活性化を図ります。

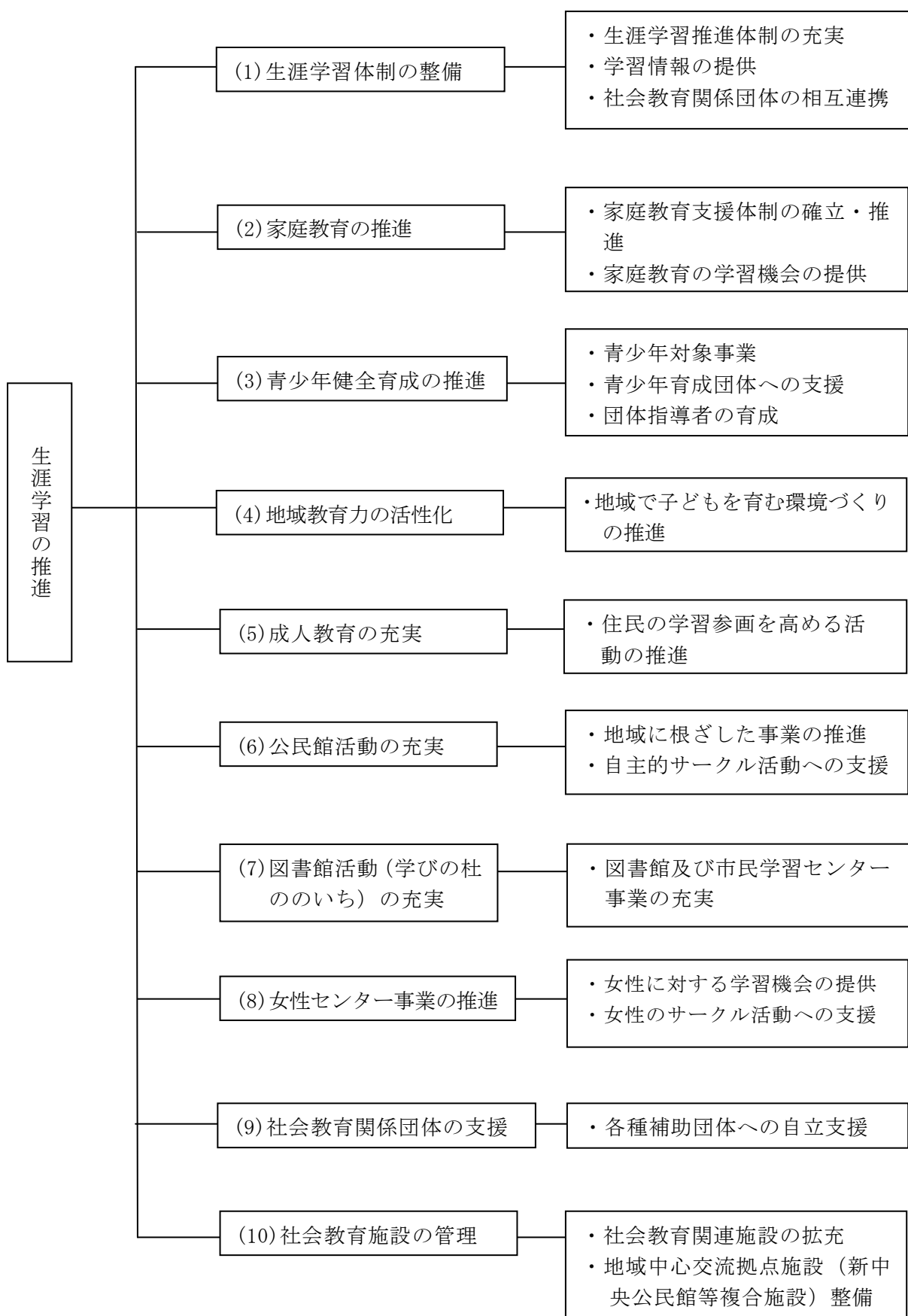
④ 生涯教育と社会参画の推進

- ・ 地域の学習拠点として、公民館が特色ある事業の推進に努めます。
- ・ 学びの杜ののいちが、市民の学習活動を通じた知の拠点として、誰もが利用しやすい施設として機能を果たすよう努めます。
- ・ 学びのサポーター登録や事業企画推進員など、地域の人材を発掘し、また自主的な企画・運営に携わる機会を提供することで、地域社会の活性化を推進します。
- ・ スカウト育成会、女性団体など、社会教育関係団体の自立した活動を支援します。

⑤ 生涯学習環境の整備

- ・ 野々市中央地区整備事業による新中央公民館等の整備計画を推進します。

2. 生涯学習施策体系



(1) 生涯学習体制の整備

- ① 生涯学習推進体制の充実
 - ・教育ユニバーサルプランの実現に向けた体制づくり
 - ・社会教育委員会議の開催
- ② 各種社会教育団体への加入と連携
 - ・県…県社会教育委員連絡協議会、金沢大学社会教育研究振興会、県少年補導センター連絡協議会、県視聴覚教育協議会、県公民館連合会
- ③ 学習情報の提供
 - ・「生涯学習情報」の市広報紙掲載（年4回、4・7・10・1月）
 - ・「公民館サークル情報」の発行（年1回、5月）
 - ・市広報紙、市ホームページ、市 Facebook、市地域ポータルサイト、えふえむ・エヌ・ワン等の活用

(2) 家庭教育の推進

- ① 家庭教育支援体制の確立
 - ・家庭教育推進協議会の開催
 - ・家庭教育サポーターの設置
 地域において保護者に対する支援活動

② 学習体制の整備

幼児から中学生までの保護者への学習機会を積極的に提供します。

事業名	対象	参加予定人数	回数	内容
家庭教育学級 (全小中学校 PTA)	小・中学生 の保護者	1回あたり 65人程度	1校あたり 2～3 回	市 PTA 連合会に委託 家庭教育の向上をめざし、保護 者の学習機会の拡充を図る。
幼児家庭教育講座 (全保育園)	園児の保護 者	1回あたり 30人程度	1園あたり 各1回	幼児期の家庭教育の重要性を 学ぶ。
就学時健診子育て講座 (全小学校)	就学前児童 の保護者	1回あたり 120人程度	5回 (1校あたり1回)	就学時健診の機会を活用して、 全ての保護者へ学習機会を提供する。
思春期子育て講座 (全中学校)	中学校入学 前の生徒の 保護者	1回あたり 220人前後	2回 (1校あたり1回)	中学校入学説明会の機会を活用して、全ての保護者へ学習機会を提供する。



家庭教育学級



幼児家庭教育講座

(3) 青少年健全育成の推進

―「青少年対策機構図」は44ページ参照―

① 青少年対象事業の実施

子どもたちが遊びのおもしろさや手づくりの温かさ、自然の雄大さを体験し、年齢や学校を越えた仲間づくりを進めます。

事業名	対象	募集定員	内容	場所
青少年自然体験事業 ～とびだせ！アウトドア KIDS～	小学3年生 ～ 小学6年生	30人	自然教室(年2回、日帰り)	金沢市 白山市
学びのサポーターとつくる夏休み体験	小学生	202人	手作り教室、体験教室など	地区公民館など
立 志 式	中学2年生	489人	11月28日(水)開催、講演会の開催	文化会館 フォルテ
青少年海外派遣事業	高校生	未定	石川少年の翼への参加補助	ロシア・イルクーツク州

② 青少年団体の育成

学校外活動の充実を図るため、定期的に活動する団体の育成を推進します。

- ・中央公民館事業 …フォルテ児童合唱団
- ・ボランティア団体…ボランティア探検隊「飛鳥」

③ 校外育成活動の充実

市少年育成センターと“ののいちっ子を育てる”市民会議が中心となって、官民一体となった育成活動を展開します。

	組 織	主 な 事 業
少年育成センター	運営協議会の開催(年3回) 委員 14人 育成指導員 64人	街頭巡視活動、万引き対策、インターネット巡視活動など
“ののいちっ子を育てる”市民会議	常任委員会(年4回)、全体会議(年1回)の開催 構成 54団体、役員・常任委員 27人	愛と和 ののいち 5万人あいさつ運動、子どもと大人のまちぐるみ美化清掃、社会環境浄化活動、啓発活動、青少年問題研修会(講演会)など



立志式



子どもと大人のまちぐるみ美化清掃

(4) 地域教育力の活性化

① 放課後・週末における子どもの居場所づくりの推進

放課後や週末におけるスポーツや文化活動などの体験活動や、地域住民との交流活動を実施します。

事業名	校区
野々市小学校放課後子ども教室	野々市小学校
御園小学校放課後子ども教室	御園小学校
菅原小学校放課後子ども教室	菅原小学校
富陽小学校放課後子ども教室	富陽小学校
館野小学校放課後子ども教室	館野小学校
こどもセンター放課後子ども教室	全市内対象

② 生涯学習ボランティアの育成

事業名	目的	内容
学びのサポーター 登録・活用事業	子どもたちの体験活動を充実させるため「学びのサポーター」を募集・登録し、学社連携を強化しながらその活用を図る。	募集・登録・紹介事業 公民館活用事業 学校活用事業



放課後子ども教室



学びのサポーターとつくる夏休み体験

(5) 成人教育の充実

① ののいち市民大学事業の実施

・ ののいちコミュニティカレッジの開講

目 的	内 容	企画委員会	場 所
大学協力講師等による市民向け講座を開設し、市民の自主的な運営によって、学習機会の拡大とまちづくり事業への参画意識の高まりを図る。	金沢工業大学、石川県立大学、金沢大学等の協力により、昼の部、夜の部及び共通講座を計12講座程度開講。交流会を2回程度実施。	公募者 10名	学びの杜の のいちカレ ード

・ マイ・タウン塾の開講

目 的	内 容	実施回数等	場 所
町内会と連携をとりながら学習機会の提供を図る。	テーマや講師を提案し、希望町内会の会館などで出前講座を実施。	1町内会につき1回	各町内会館等

・ 公開講座の開講

広く市民に公開し、学習意欲の喚起を図る。

目 的	内 容	実施回数等	場 所
広く市民に公開	放送大学等の人的資源を地域に開放する一般向け教養講座。	年2回程度	学びの杜の のいちカレ ード

② 成人式の開催

目 的	日 時	内 容	場 所
新成人の前途を祝福するとともに、人生の意義あるステップとなることを願う。	平成 31 年 1 月 13 日 (日) 午前 10 時から	式典等	文化会館 フ ォルテ



コミュニティカレッジ



成 人 式

(6) 公民館活動の充実

① 中央公民館事業（活動）の充実

・ ののいちマナビィフェスタ 2018 の開催

目 的	内 容	期 間	会 場
生涯学習と地域文化の発展を願い、広く学習と活動の機会を設けることにより、一人ひとりが生きがいを実感し、文化の香り高いまちづくりを目指す。	作品展示、舞台発表、活動発表、講演会、模擬店、イベント等	10 月 27 日 （土）から 11 月 4 日 （日） 予定	フォルテ カレード カメラア 郷土資料館

・ 高齢者教育の推進

事業名	対象	参加者数	内容
野々市寿大学校	60 歳以上	50 人	5 月から月 2 回程度 教養・健康づくり・歴史などの講座を実施
野々市寿大学院	寿大学校の 卒業生	218 人	コーラス・ちぎり絵・俳句・園芸・囲碁・書・水墨画・健康体操ストレッチ（ピラティス）の 8 コースを実施 院生による自主活動

・ 自主サークル活動の奨励

寿大学校同窓会活動を支援し、継続的な学びと仲間づくりを進めます。

② 地区公民館活動の充実

地域住民が相互の親睦を深めながら、個々の教養の向上、生活の改善、健康の増進に寄与できる公民館活動を行います。

・ 主な地区公民館事業

◎ 野々市公民館

生涯学習のテーマ：地域と連帯

期 日	事 業 名
5 月	視察研修
5 月	グラウンドゴルフ大会
10 月	本町地区運動会
11 月	トリプルソフトバレー大会
12 月	クリスマスコンサート
1 月	料理教室
2 月	地域学習会「防災講座」

◎ 富奥公民館

生涯学習のテーマ：文化と教養

期 日	事 業 名
5 月	グラウンドゴルフ大会
6 月	視察研修
8 月	TOMIFES（ミニ文化祭）
9 月	富奥地区運動会
11 月	トリプルソフトバレー大会
12 月	ファミリー手作り教室



料理教室



視察研修

◎ 郷公民館

生涯学習のテーマ：自然と環境

期 日	事 業 名
6 月	花いっぱい運動
7 月	グラウンドゴルフ大会
7 月	高齢者生きがい教室
10 月	郷地区運動会
10 月	大人のための社会見学
11 月	ペタンク大会
2 月	ボウリング大会
通年	健寿事業

◎ 押野公民館

生涯学習のテーマ：健康と安全

期 日	事 業 名
5 月	グラウンドゴルフ大会
5 月～6 月	押野歴史探訪会
10 月	押野地区運動会
11 月	トリプルソフトバレー大会
11 月	ふれあいもちつき
1 月～2 月	わら工作の会
2 月	新春麻雀大会
2 月	いきいきゼミナール
2 月	ボウリング大会
6、9、11、12 月	お試し体験講座



高齢者生きがい教室



わら工作の会

(7) 図書館活動（学びの杜ののいち）の充実

・事業内容

事 業 項 目	事 業 概 要
資料と情報の収集・提供	新市立図書館の I C T 技術を生かして、資料を選択、収集、整理保存し、提供する。図書館の資料を活用し、的確なレファレンス・サービスを行う。他の図書館とも連携し、利用者のニーズに応じた幅広い資料の提供を行う。
地域格差の解消	団体貸出、配本所を充実する。
郷土理解のための情報提供	市民の郷土理解のため情報の収集と提供に努める。
児童への働きかけ	乳児も含め、児童にすぐれた図書にふれさせ、読書のすばらしさを知るきっかけを与える。
各種団体の育成	読書会活動の支援、グループの育成を図る。ブックスタートボランティアの活用と育成を図る。図書館ボランティアの活用と育成を図る。
学校図書館等との協力体制	学校図書館等との連携を図り、互いの活動の充実に努める。
市民学習センター機能との連携	市民が読書を通じて得た知識、好奇心を市民学習センターにおける活動の実践に結びつける働きかけを行う。

・主な活動計画

事業名	対象	実践活動の内容	実施場所
おはなし会 (月6回)	児 童	お話や絵本の読み聞かせ、紙芝居などを行う。	学びの杜ののいちカレード
図書館上映会	一 般	図書館が所蔵する映画作品を上映する。	学びの杜ののいちカレード
市民歴史講座	一 般	図書館スタッフによる野々市市に関する歴史講座を開催する。	学びの杜ののいちカレード
本×音楽のカーニバル	児 童	おはなし会とクラシック音楽のミニコンサートを開催する。	学びの杜ののいちカレード
ボードゲーム体験会	一 般	入門者から経験者までが楽しめるゲームを用意する。	学びの杜ののいちカレード
ぬいぐるみのおとまり会	児 童	児童から預かったぬいぐるみが図書館で過ごす様子を写真に撮って進呈する。	学びの杜ののいちカレード
ののいち 子ども読書の日	市 民	毎年7月23日を「ののいち子ども読書の日」とし、市内の施設や学校、家庭において、子どもが本に触れ合い読書に親しめる催し物や読書啓発を行う。	学びの杜ののいちカレード、保育園、児童館、子育て支援センター、保健センター、生涯学習施設、小中学校、高等学校
ブックスタート (月2回)	乳 児 保護者	メッセージを添えて絵本を手渡し、読み聞かせの大切さを伝える。	保健センター
サポーター養成講座	一 般	図書館でボランティアを行うサポーターを養成し、図書館活動の充実を図るほか、市民に生涯学習活動への参加機会を提供する。	学びの杜ののいちカレード ほか
陶芸教室	一 般	市民が気軽に陶芸を楽しみ、作品を完成させる連続講座を開催する。	学びの杜ののいちカレード
心とカラダ・自然により そうお料理教室～美人Foodクッキング	一 般	健康増進につながる食事をメインに、子どもから大人までが料理に親しめる教室を開催する。	学びの杜ののいちカレード
かがく実験教室	児 童	講師の指導のもと、子どもが科学実験や工作を行う教室を開催する。	学びの杜ののいちカレード
世界の美術で遊んじゃおう	一 般	タブレット端末を使った美術作品鑑賞ワークショップを開催する。	学びの杜ののいちカレード
ジャズ写真展（仮）	一 般	ジャズイベント「ビッグアップル」に合わせて写真展を開催する。	学びの杜ののいちカレード
JAXA 宇宙学校	児 童	子どもたちに宇宙科学に対する理解を深めてもらうため、専門家による講演会を開催する。	学びの杜ののいちカレード

(8) 女性センター事業の推進

女性の日常生活を支援し、その福祉の増進を図るための事業を行います。

・主な事業

期 日	事 業 名	期 日	事 業 名
5 月	春の寄せ植え	11 月	ペン習字
6 月	旬の味 よもぎ団子を作ろう	12 月	大根寿し
7 月	フードロス	12 月	クラフトで作るしめ飾り
8 月	みんなで歌おう！	1 月	樹脂粘土のお雛さま
9 月	エアロビクス	1 月	押絵
10 月	料理教室	2 月	水引のネックレス
11 月	和布を楽しむ（鏡餅）		

(9) 社会教育団体の支援

① 補助団体一覧

(平成 30 年 5 月 1 日現在)

部門	団 体 名	代 表 者	設 立 年	構 成 員 数 (人)	下 部 団 体
育成 団体	子ども会育成連絡協議会	辻 禎弘	昭和 40 年	4,111	58
	PTA 連 合 会	宮森 恒成	昭和 38 年	4,090	7
	野々市スカウト育成会	栗 貴章	昭和 44 年	80	6
女性 団体	女性協議会	澤村 昭子	昭和 52 年	700	
	生活学校	千田 幸子	昭和 46 年	17	
	各種女性団体連絡協議会	上野 弘子	平成 14 年	143	4
青年 団体	青年ボランティア団体 glory	川村 夏澄	平成 28 年	11	
公 民 館 団 体	公民館連合会	田多野 和彦	平成 17 年	10	

② サークル活動の推進

生涯学習施設において自主学習サークル、グループの登録要綱等を整備し、市民の自発的な学習と仲間づくりを支援します。

・サークル、グループ登録状況(平成 30 年 4 月現在)

施 設 名	登 録 数
野々市公民館	29 団体
富奥公民館	13 団体
郷公民館	14 団体

施 設 名	登 録 数
押野公民館	10 団体
女性センター	24 団体

計 90 団体

(10) 社会教育施設の管理

① 施設の充実

ア 社会教育関連施設の整備

- ・施設の効率的な修繕

イ 社会教育関連施設の運用の工夫

- ・公共施設予約案内システムの運用

ウ 野々市中央地区整備事業（PFI事業）による整備計画

- ・文化交流拠点施設

学びの杜ののいち（愛称 カレード）（新市立図書館・市民学習センター・憩いの広場）

整備期間 平成 27 年度～平成 29 年度

供用開始日 平成 29 年 11 月 1 日（水）

維持管理運営期間 平成 29 年度～平成 40 年度

- ・地域中心交流拠点施設

（仮称）新中央公民館・市民活動センター・民間商業施設

整備期間 平成 29 年度～平成 30 年度

維持管理期間 平成 31 年度～平成 40 年度

② 施設の概要

名 称	位 置	電話番号	延床面積(㎡)	施 設 内 容	建設年月
中央公民館 ※H29.7 で閉館 H31.4 に新中央公民館開館 予定	—	248-0521	—	※H29.11 からH31.3 まで学びの杜ののいちカレードを仮施設として使用	—
野々市公民館	中央公民館に同じ				
富奥防災コミュニティセンター（富奥公民館）	中林五丁目 3-22	248-0829	1,489.80	多目的室、和室、調理室、小会議室、集会室、学習室（2）	H26.11
郷公民館	田尻町 94	248-0250	820.40	集会室、談話室、学習室（2）、和室（2）、調理実習室	H2.3
押野公民館	押野三丁目 70	248-2839	709.58	集会室、学習室、研修室、調理実習室、和室（2）	S61.3
女性センター	稲荷四丁目 155	246-0810	629.39	相談室、軽運動室、講習室（2）、調理実習室	S58.1
学びの杜ののいち 愛称：カレード	太平寺四丁目 156	248-8099	5,695.7	市立図書館 閲覧室（一般・児童・ヤングアダルト）、図書ボランティア室、学習室、グループ学習室	H29.11
				市民学習センター 市民展示室、屋外ギャラリー、オープンギャラリー、音楽スタジオ、研修室・会議室、キッチンスタジオ、創作スタジオ（2）	

③ 施設利用の仕方

名 称	開館時間	休 館 日	使用申し込み方法等
郷公民館 押野公民館	午前 9 時～ 午後 10 時	月 曜 日、祝 日、年末年始	① 使用する日の 3 ヶ月前から 3 ～10 日前迄に使用許可申請書に必要事項を記入し、各公民館へ申し込む。 ② 電話、口頭、手紙等による申込みは受付できません。 ③ 受付時間は、午前 9 時から閉館まで。(休館日を除く) ④ 使用料は、許可を受け次第前納する。
富奥防災コミュニティセンター（富奥公民館）	午前 9 時～ 午後 10 時	月 曜 日、祝 日、年末年始	① 使用する日の 3 ヶ月前から 3 日前迄に使用許可申請書に必要事項を記入し、申し込む。 ② 電話、口頭、手紙等による申込みは受付できません。 ③ 受付時間は、午前 9 時から閉館まで。(休館日を除く) ④ 使用料は、許可を受け次第前納する。
女性センター	午前 9 時～ 午後 10 時	月 曜 日、祝 日、年末年始	① 使用する 3 ヶ月前から 3 日前迄に使用許可申請書に必要事項を記入し申し込む。 ② 電話、口頭、手紙等による申込みは受付できません。 ③ 受付時間は、午前 9 時から閉館まで。(休館日を除く) ④ 使用料は、許可を受け次第前納する。
学びの杜の いち 愛称：カレード	午前 9 時～ 午後 10 時	水曜日、年末 年始	市民学習センター ①使用する 6 ヶ月前から 3 日前迄に使用許可申請書に必要事項を記入し、申し込む。 ②電話、口頭、手紙等による申込みは受付できません。 ③受付時間は、午前 9 時から午後 9 時 30 分まで。(休館日を除く) ④使用料は、許可を受け次第前納する。
			市立図書館 ① 貸出は一人 10 冊まで ② 期間は 2 週間

④ 施設利用状況（平成 29 年度）

名 称	利用件数(件)	利用者数(人)
中央公民館(野々市公民館)	1,006	15,199
富奥防災コミュニティセンター（富奥公民館）	1,658	30,868
郷公民館	1,020	12,042
押野公民館	788	11,441
女性センター	1,578	15,157

市立図書館	個人有効登録者数 (人)		貸出利用者数 (人)		貸出冊数 (冊)		入館者数 (人)
	14, 615		56, 685		226, 804		219, 350
	小学生以下	3, 113	小学生以下	13, 702	小学生以下	66, 311	
	一般	11, 502	一般	42, 983	一般	160, 493	

⑤ 市立図書館の蔵書構成と貸出状況（平成 30 年 3 月末現在）

		蔵 書 数 (冊)	構 成 比 (%)	平成 29 年度貸出冊数 (冊)
総 冊 数	開 架	154,656	100.0%	226,804
	閉 架	103,829	67.1%	—
	館 外	33,967	22.0%	—
	館 外	16,860	10.9%	—
内 訳	一般向け図書	94,367	61.0%	102,048
	YA向け図書	2,202	1.4%	2,935
	児童向け図書	27,550	17.8%	49,075
	絵 本	21,509	13.9%	54,835
	紙 芝 居	251	0.2%	1,483
	参 考 図 書	1,757	1.1%	348
	郷 土 資 料	7,020	4.5%	1,150
	雑 誌	—	—	5,731
視 聴 覚 資 料		—	—	9,199

開 架：本館閲覧室所蔵の分

閉 架：本館書庫、事務室所蔵の分

館 外：配本所の分

※雑誌、視聴覚資料は蔵書数に含まない。



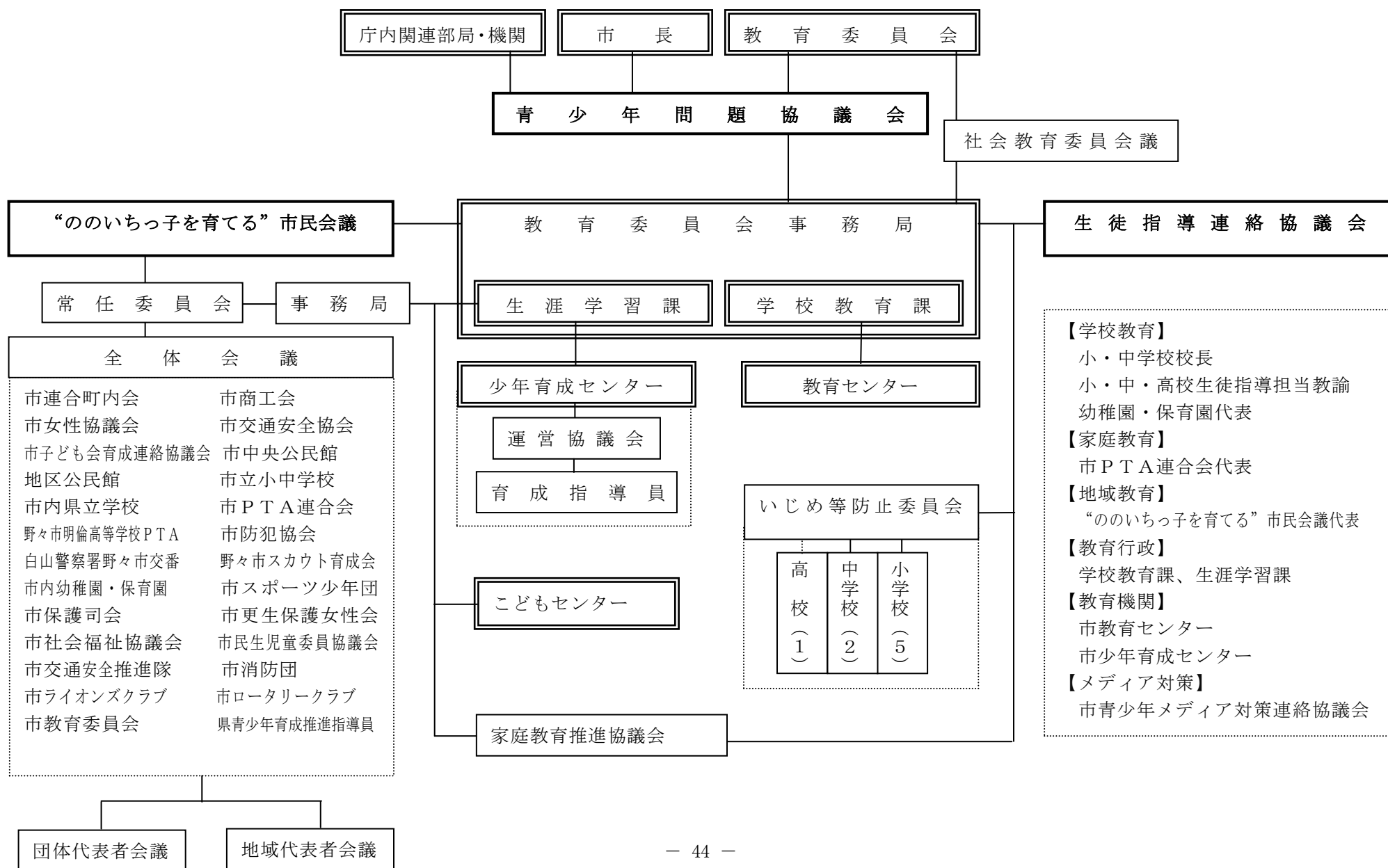
ピヨピヨおはなし会



かがく実験教室

青少年対策機構図

野々市市



Ⅶ. 文 化

1. 基本目標及び基本的施策

(1) 基本目標

文化活動を通じて、市民一人ひとりの創造性と個性を育むとともに、地域の歴史・文化への親しみを深める事業や環境の整備を進めて、郷土を愛する心豊かな人間性の育成をめざします。

(2) 基本的施策

① 文化・芸術活動の推進

- ・ 市民が積極的に参加できるような魅力ある美術展、じょんからまつり、椿まつりの開催に努めます。
- ・ 市内で活動する文化団体を支援し、市民文化・芸術の振興を推進します。
- ・ 市民が中心となった自主的な活動を支援し、一人ひとりが文化・芸術に親しむ機会の充実を図ります。
- ・ 優れた芸術、音楽などを鑑賞できる機会の充実を図ります。

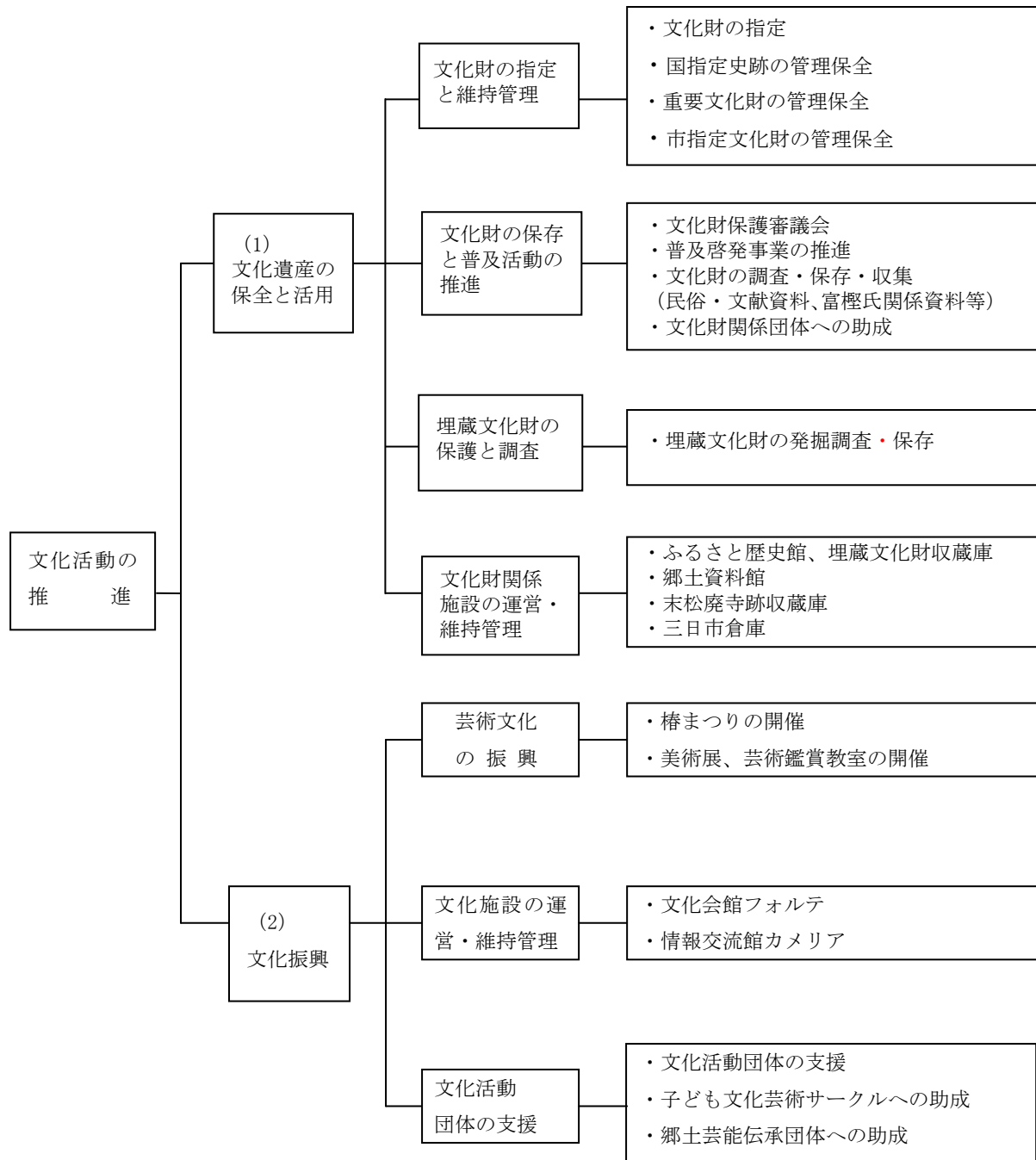
② 文化会館、情報交流館の活用

- ・ 情報文化振興財団が行う、市民参加型の文化・芸術活動事業を支援し、文化会館、情報交流館の活用を促進します。

③ 伝統行事・文化財の保護と活用及び地域の文化に対する理解の醸成

- ・ 郷土芸能伝承団体の活動を支援し、伝統行事の伝承と後継者の育成を図るとともに、無形文化財の指定に向けた調査を実施します。
- ・ 土器づくりや勾玉づくりの古代体験学習、野々市の歴史・文化をテーマとした企画展・講演会を実施します。
- ・ 重要文化財「石川県御経塚遺跡出土品」の土器について保存修理事業を進め、展示公開の充実を図ります。
- ・ 史跡末松廃寺跡の再整備に向けて、指定地内の発掘調査を実施します。
- ・ 地域に残る文化財の理解を深めるため、市内の遺跡や文化財を紹介する説明板を設置します。
- ・ 重要文化財喜多家住宅の敷地にある酒造関連建造物について、重要文化財の追加指定をめざし、今後の運営や利活用について検討します。
- ・ 郷土資料館に開設した茶房を地域住民や来訪者の交流の場として活用し、本町通りのにぎわい創出を進めます。
- ・ 中林土地区画整理事業など大規模な開発に伴う埋蔵文化財発掘調査事業を円滑に進めます。

2. 文化施策体系



(1) 文化遺産の保全と活用

① 文化財の指定と維持管理

ア 文化財の指定

市内に存在する重要な文化財を調査検討し、市指定文化財として後世に継承します。

イ 国指定史跡の管理保全



史跡末松廃寺跡



史跡御経塚遺跡

ウ 重要文化財の管理保全

石川県御経塚遺跡出土品、喜多家住宅

エ 市指定文化財の管理保全

農事社跡、住吉の宮、富樫館跡、徹通和尚茶毘の墓、水毛生家住宅、守護所富樫館跡

オ 指定文化財一覧表

a 国指定文化財

種 別		名 称	数量	所在地住所	管理者	指定年月日
重要文化財	建造物	喜多家住宅	2 棟	野々市市本町三丁目 8－11	個人	昭46. 12. 28
記念物	史跡	末松廃寺跡		〃 末松二丁目地内	野々市市	昭14. 9. 7
〃	〃	御経塚遺跡		〃 御経塚一丁目549	〃	昭52. 3. 8
重要文化財	考古資料	石川県 御経塚遺跡出土品	4, 219 点	〃 御経塚一丁目182 ふるさと歴史館	〃	平22. 6. 29
重要無形文化財	工 芸 技 術	蒔絵	一	〃 清金	中野孝一	平22. 9. 6

b 市指定文化財

種 別		名 称	数量	所在地住所	管理者	指定年月日
有形文化財	絵画	馬の図 (伝富樫政親筆)	1 幅	野々市市扇が丘 7－1	金沢工業大学	昭45. 3. 10
〃	書跡	顕尊上人消息	1 通	〃 本町三丁目13－20	照台寺	昭42. 2. 11
〃	〃	前田利長書状	1 通	〃 本町三丁目 8－11	個人	昭45. 3. 10
〃	〃	前田利常書状	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	宿送人足伝馬之書	1 通	〃 御経塚一丁目182 ふるさと歴史館	野々市市	〃
〃	〃	野々市村村御印	1 通	〃	〃	〃

種 別		名 称	数量	所在地住所	管理者	指定年月日
有形文化財	書跡	上林村村御印	1 通	野々市市上林三丁目	個人	昭53. 3. 12
〃	〃	下林村村御印	1 通	〃 下林四丁目153	下林町内会	〃
〃	〃	末松村村御印	1 通	〃 末松一丁目	個人	〃
〃	〃	宣如上人消息	1 通	〃 本町三丁目	個人	〃
〃	〃	二日市村村御印	1 通	〃 御経塚一丁目182 ふるさと歴史館	野々市市	昭61. 4. 22
〃	〃	長池村村御印	1 通	〃 長池	個人	〃
〃	〃	藤平田新村村御印	1 通	〃 藤平	個人	〃
無形民俗文化財	芸能	野々市じょんから節		〃 本町	野々市じょんから節保存会	昭42. 2. 11
記念物	史跡	住吉の宮		〃 本町二丁目14-16 (布市神社)	布市神社	〃
有形文化財	歴史資料	徹通和尚茶毘の墓		〃 太平寺一丁目1-1	太平寺町内会	〃
記念物	史跡	富樫館跡		〃 本町二丁目307-1	野々市市	昭45. 3. 10
〃	〃	農事社跡		〃 住吉町170	〃	〃
〃	天然記念物	大公孫樹		〃 本町二丁目14-16 (布市神社)	布市神社	昭42. 2. 11
〃	〃	上林の大椎		〃 上林三丁目71 (林郷八幡神社)	林郷八幡神社	昭53. 3. 12
有形文化財	典籍	光松山八幡宮縁起 (卷子本)	3 巻	〃 御経塚一丁目182 ふるさと歴史館	野々市市	平2. 5. 29
〃	〃	光松山八幡宮縁起 (冊子本)	3 冊	〃	〃	〃
〃	書跡	徳用村肝煎仕平願書	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	金谷御殿御用方赤井 喜内・山崎遐福翁覚	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	元十村役瀬尾孫三 手代建部次吉請書	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	建部次吉通知状	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	里正棟取瀬尾孫三願書	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	瀬尾孫三書状	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	元御住居御用弁方書状	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	建部次吉書状	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	建部次吉書状	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	氏神社神社号願	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	前田家家扶代多田一書状	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	八幡大神四文字ノ由来記	1 通	〃	〃	〃
〃	〃	八幡大神の神号額	1 幅	〃	〃	〃
〃	〃	亀の字	1 幅	〃	〃	〃
〃	〃	野草幽花各自香	1 幅	〃	〃	〃
〃	歴史資料	鳥居	1 基	〃 徳用二丁目	光松八幡神社	〃
〃	〃	三社の題額	1 面	〃	〃	〃

種 別		名 称	数量	所在地住所	管 理 者	指定年月日
有形文化財	歴史資料	八幡大神の神号額	1 面	野々市市御経塚一丁目182 ふるさと歴史館	野々市市	平2.5.29
〃	絵画	猿の絵	1 幅	〃	〃	〃
〃	〃	扇面	1 幅	〃	〃	〃
〃	〃	宝の玉の図	1 幅	〃	〃	〃
〃	彫 刻	木造狛犬	1 対	〃 徳用二丁目	光松八幡神社	〃
〃	建造物	旧魚住家住宅 (現郷土資料館)	1 棟	〃 本町三丁目19-24	野々市市	平5.2.16
〃	〃	水毛生家住宅 附 庭 園	3 棟	〃 本町三丁目	個人	平8.1.25
〃	工芸品	脇差(銘信長)	1 振	〃 本町三丁目1-1	布市神社	平8.3.1
〃	歴史資料	木造厨子	1 基	〃 三納二丁目1	日下日吉神社	平9.6.25
〃	〃	石造山王権現神像	1 軀	〃	〃	〃
記 念 物	史 跡	経塚	1 基	〃 御経塚二丁目335	野々市市	平12.5.26
		附 石像傳大土像	1 軀	〃 御経塚一丁目182 ふるさと歴史館		
有形文化財	書 跡	野代村村御印	1 通	〃 野代二丁目	個人	平14.7.4
〃	歴史資料	古源家文書	414点	〃 末松一丁目	個人	〃
〃	考古資料	和同開珎銀銭	1 点	〃 末松一丁目	個人	平19.2.22
〃	考古資料	御経塚遺跡出土品	6,721 点	〃 御経塚一丁目182 ふるさと歴史館	野々市市	平20.4.22
記念物	史跡	守護所富樫館跡	一	〃 住吉町235-2	個人	平28.6.28
有形文化財	歴史資料	石山合戦図絵馬	1 面	〃 二日市五丁目18	荒川神社	平29.11.1
〃	〃	賤ヶ岳合戦図絵馬	1 面	〃 二日市五丁目18	荒川神社	平29.11.1

② 文化財の保存と普及活動の推進

ア 文化財保護審議会

市内の文化財の保存および活用に関する事項を調査審議

イ 普及啓発事業の推進

● 普及啓発事業

- ・ 古代体験学習（土器作り・勾玉作りなど）、文化財関係企画展、歴史講演会を実施します。
- ・ 重要文化財石川県御経塚遺跡出土品について展示公開を充実します。
- ・ 市内の文化財や遺跡を紹介する説明板等を9基設置します。



夏休み古代体験（平成29年度）

ウ 文化財の保存・調査・収集

- 重要文化財喜多家敷地内の酒造関連建造物の詳細調査
- 無形文化財・天然記念物、建造物、伝承等の調査
- 民具、農具、生活用具等の収集
- 体験、昔話の収集、記録
- 古文書等文献資料や市の沿革に関する資料の調査・収集

エ 文化財関係団体への助成

- 富樫氏頌徳会

③ 埋蔵文化財の保護と調査

ア 埋蔵文化財の発掘調査、保存修理事業

事業名	事業概要	遺跡概要
民間開発に伴う緊急発掘調査事業	扇が丘ゴシヨ遺跡 出土品整理・報告書刊行	弥生・古代・ 中世 集落跡
中林土地区画整理事業関係発掘調査	末松遺跡 発掘調査 1,150 m ² 出土品整理	古代 集落跡
西部中央土地区画整理事業関係発掘調査	田尻ナワシロ遺跡 発掘調査 600 m ² 出土品整理	弥生 集落跡
文化財保存修理事業	重要文化財御経塚遺跡出土品 土器詳細復元委託 史跡末松廃寺跡発掘調査 発掘調査 200 m ² 出土品整理・報告書刊行	縄文 古代 寺院跡



発掘調査風景（扇が丘ゴシヨ遺跡・平成 29 年度）

④ 文化財関係施設の運営・維持管理

ア ふるさと歴史館・埋蔵文化財収蔵庫

概 要 重要文化財に指定された御経塚遺跡出土品をはじめ、弥生時代～中世の出土遺物や富樫氏関係資料・近世文献資料の展示と文化財資料の整理・収蔵を行っています。

区 分	ふるさと歴史館	埋蔵文化財収蔵庫	計
敷地面積	1,131.39 m ²	509.02 m ²	1,640.41 m ²
建築面積	344.18 m ²	180.00 m ²	524.18 m ²
延床面積	822.30 m ²	302.00 m ²	1,124.30 m ²
構 造	鉄筋コンクリート2階・地下1階	鉄筋コンクリート2階	

所 在 地 野々市市御経塚一丁目182番地 電話：246-0133

開館時間 午前10時～午後4時

休 館 日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土・日を除く）、年末年始

イ 郷土資料館

概 要 市指定文化財「旧魚住家住宅」と展示棟で、明治～昭和初期の農具や生活道具を展示しています。旧魚住家住宅は安政年間に建てられた農村の商家で、表構えは町家、間取りと構造は農家となる建物で、規模は間口7間（12.6m）、奥行14間（25.2m）です。天井の梁や一尺角の檼主柱、式台の厚板、囲炉裏などは、近世の民家の姿をよく伝えています。

また、館内のミセノマに茶房（土・日曜日のみ営業）を開設し、本町通りのにぎわい創出と地域住民が集える空間を提供しています。

面 積 敷地面積 964.76 m²

建築面積 408.58 m²（旧魚住家住宅 280.85 m²・展示棟 127.71 m²）

延床面積 611.08 m²（旧魚住家住宅 335.63 m²・展示棟 203.45 m²・土蔵 72 m²）

構 造 旧魚住家住宅 木造瓦葺平屋（一部中2階）・展示棟 鉄骨造2階

移築年月日 平成7年3月1日

所 在 地 野々市市本町三丁目19番24号 電話：246-2672

開館時間 午前10時～午後6時

休 館 日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土・日を除く）、年末年始



ふるさと歴史館



郷土資料館

ウ 末松廃寺跡収蔵庫

概 要 白鳳時代（7世紀後半）に創建された末松廃寺跡から出土した遺物を収蔵しています。

鉄筋コンクリート造り平屋建、建築面積 153.98 m²、総床面積 129.73 m²。

所 在 地 野々市市末松二丁目（史跡末松廃寺跡）地内

エ 三日市倉庫

概 要 市内埋蔵文化財発掘調査で出土した遺物及び市内で収集された民具、農具、生活用具等を保管しています。

コンクリートブロック造瓦葺（一部木造カラー鉄板平屋建）

敷地面積 393.65 m²、建築面積 231.0 m²。

所 在 地 野々市市三日市三丁目 362 番地

(2) 文化振興

① 芸術文化の振興

ア 花と緑ののいち椿まつり 2019

目 的 愛と和の市民憲章に謳われている「郷土を愛し緑ゆたかな住みよいまち」づくりを推進するため、市花木に指定されている「椿」を介して各種行事を開催し、文化的な潤いのある地域環境と「賑わい」の創出に寄与します。

開 催 日 平成 31 年 3 月 16 日 (土) 17 日 (日)

場 所 文化会館フォルテ・教育センター・野々市中央公園

内 容

- ・アート・オブ・ツバキ (椿を題材とした作品展示)
生け花・盆栽・鉢植え・切り花・日本画・洋画・書・写真・工芸・彫刻・俳句・短歌・ジュニア椿絵画等
- ・椿オリジナルステージ (民謡・ダンス・軽音楽・コーラスなど、お楽しみ抽選会)
- ・花と緑の市 (椿苗・盆栽・花苗・園芸資材等の即売ほか)
- ・特産物市 (市特産品等の即売・農業振興協議会によるヤーコン等の販売ほか)
- ・お茶席 (抹茶・煎茶)
- ・公開文学講演会
- ・つばき食堂 (各種飲食ほか)
- ・囲碁・将棋大会 (自由対局・大会)
- ・ののいち椿館及び椿山 (椿の観賞)

イ 野々市市美術展

市民の美術文化活動の振興とその鑑賞の機会を設けます。

期 日	内 容	場 所
7 月 6 日～15 日	市民公募 (日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・ジュニア)	学びの杜ののいちカレード

1) 平成 30 年度

●オーケストラ鑑賞教室

オーケストラ・アンサンブル金沢 5 月 22 日 (火) 野々市中学校全校生徒

●スクールシアター

オペレッタ劇団ともしび「トラの恩がえし」 5 月 28 日 (月) 市内小学校 5 年生



オーケストラ鑑賞教室 (平成 30 年度)



スクールシアター (平成 30 年度)

② 文化活動団体の支援

ア 文化活動団体の支援

芸 術 文 化 団 体	団 体 名	代表者	設立年	会員数
	文 化 協 会 （ 1 6 団 体 ）	中 村 昭 一	S 61 年	896 名
	① 野々市じょんから節保存会	中 村 昭 一	35 年	58 名
	② 菊 花 協 会	中 川 修	36 年	21 名
	③ 椿 愛 好 会	宮 崎 昭 男	49 年	48 名
	④ 美 術 文 化 協 会	竹 田 明 男	52 年	78 名
	⑤ 音 楽 文 化 協 会	朝 倉 喜 裕	52 年	186 名
	⑥ 華 道 協 会	西 保 淳 甫	53 年	68 名
	⑦ 盆 栽 愛 好 会	山 科 哲 次	54 年	30 名
	⑧ 囲 碁 協 会	大 西 英 明	57 年	50 名
	⑨ 将 棋 協 会	西 本 正 明	58 年	99 名
	⑩ 読 書 会 連 絡 協 議 会	奥 田 満喜子	61 年	26 名
	⑪ 社 交 ダ ン ス 愛 好 会	中 村 三 明	61 年	22 名
	⑫ 民 謡 協 会	山 口 正 昭	H元年	67 名
	⑬ 俳 句 協 会	山 田 深 雪	3 年	38 名
	⑭ 茶 道 協 会	藤 力	5 年	67 名
	⑮ 短 歌 協 会	中 西 名菜子	7 年	13 名
	⑯ 能 楽 愛 好 会	地 崎 弘 吉	16 年	25 名

イ 子ども文化芸術サークルへの助成

- ・ジュニア太鼓サークル（ののっこ太鼓小嵐）
- ・ジュニア和楽器サークル（じょんからKIDS）
- ・ジュニア絵画サークル（絵画サークルパル）
- ・ののいちジュニアバンド（Jr. サンシャインバンド）
- ・ジュニア能楽サークル（ののいちこども能楽サークル）

ウ 郷土芸能伝承団体への助成

獅子舞 5 団体、野菜みこし、虫送り 16 団体、じょんから踊り 2 団体

③ 文化施設の運営・維持管理

ア 文化会館フォルテ（指定管理者：（公財）野々市市情報文化振興財団）

名 称	愛称	住 所	電話番号	開館年月	延床面積
野々市市文化会館	フォルテ	本町五丁目 4－1	248-8000	S 63. 5	5, 648. 33 m ²

● 施設概要

< 1 階 >

- ・大 ホール ※音楽、舞踊、演劇、講習、集会、映画など多目的に利用できます。
収容人数 832 人（椅子席 804 席、親子席 18 席、車椅子スペース 10 席分）
椅子席 1 階 固定席 682 席（うち難聴者用 32 席）
2 階 固定席 122 席
- 舞 台 プロセニウム（間口 18m、高さ 8 m、スノコまでの高さ 17.9m）
楽 屋 第 1(洋) 26 m² 9 人用、第 2(洋) 29 m² 7 人用、第 3(洋) 39 m² 15 人用
リハーサル室 126 m²
- ・小 ホール カーペットタイル敷き 326 m²
※ステージの多分割及び吊下式移動パネルにより、多彩な空間構成が可能です。大ホールに準じた利用・展示会・レセプション等にも利用できます。
- 収容人数 移動椅子 300 人
舞 台 機 能 組立式ステージ
(巾 7 m、奥行 4 m、ステージ高 0.3m)
- 展 示 機 能 吊下式パネル（大 10 枚）
パ ン ト リ ー 18 m² ※パーティーなどの準備室として利用できます。
- ・ミーティングルーム 57 m² 収容定員 20 人
- ・展 示 コ ー ナ ー 26 m² ※市の国際交流を紹介するコーナーです。
- ・喫 茶 室 46 m²

< 2 階 >

- ・レクチャールーム 56 m² 収容定員 20 人
- ・カルチャールーム 121 m² 収容定員 48 人
- ・セミナールーム 60 m² 収容定員 25 人
- ・カンファレンスルーム 36 m² 収容定員 12 人
- ・和 室 18 畳 2 間
- ・茶 室 6 畳と 3 畳（内露地有り）

< 駐車場 >

- ・駐車可能台数 約 300 台

● 利用案内

- ・開 館 時 間 午前 9 時～午後 10 時
- ・休 館 日 毎月第 1・3 水曜日（その日が祝日にあたる日は翌日）
年末・年始、その他特別の事由により臨時休館することがあります。
- ・使用申込み方法 ① 使用する日の 1 年前の日に属する月の初日から使用する日の前 3 日まで使用許可申請書に必要事項を記入し申し込んでください。
- ② 催し物を円滑に行うため、会館が指定する日に施設の使用方法など必要なことについて、係と事前打合せを行ってください。
(催し物のプログラム、入場券進行スケジュールなどの提出が必要)
- ③ 使用料は、使用許可書の交付と同時に前納してください。



BIG APPLE in Nonoichi 2017 (平成 29 年度)

文化会館事業

月	日	曜日	事業名	出演者等
4	21	土	春の選抜 Big Band 大会 in フォルテ 準決勝 AAO vs MJ0 (共催事業)	ムーンライト JAZZ オーケストラとゲストビッグバンドによるジャズライブ
5	11 12	金 土	地域の芸術文化普及事業 ベーゼンドルファー演奏体験 (他の日程は調整中)	小学生以上ピアノ経験者対象 年2回程度開催予定
5	13	日	ののいち親子ふれあい行事 0歳からの親子音楽会 ～親子で楽しむ吹奏楽ミニコンサート～ (共催事業)	石川フィルハーモニックウィーンズによる子供向けの吹奏楽コンサート (小ホール)
6	3	日	地域の芸術文化普及事業 野々市市フレンドリーコンサート	野々市市内の中学・高校の合唱部・吹奏楽部による合同音楽祭
6	13	水	地域住民による演劇活性化事業 ぬいぐるみミュージカル 「ブレーメンのおんがくたい」	出演：劇団銀河鉄道 対象：午前 市内保育園児 午後 一般市民
7	31	火	石川県高校演劇合同発表会 (共催事業) 7/31 (火) 及び 8/7 (火) ～8/11 (土)	高等学校総合文化祭と演劇合同発表会を共催
8	26	日	開館 30 周年記念事業 海上自衛隊舞鶴音楽隊コンサート in 野々市	海上自衛隊舞鶴音楽隊による演奏会。前日に市内吹奏楽部に演奏指導有り。
10	11 12 13	木 金 土	地域の芸術文化普及事業 (一財) 地域創造・公共ホール音楽活性化事業 想いをつなげるコンサート「みんなの音楽会」	11・12 日は市内アウトリーチ 4 か所／13 日は有料コンサート 出演：坂口昌優 (バイオリン) 喜名雅 (チューバ) 他
11	22	木	B I G A P P L E 出演者学校訪問 (訪問校は未定)	一流のミュージシャンの演奏を目の前で体験
11	24 25	土 日	BIG APPLE in NONOICHI 2018 ワークショップ／コンサート	ニューヨークのジャズミュージシャンとムーンライト JAZZ オーケストラ他
1	27	日	第 22 回石川県マーチングバンドカーニバル/ 第 4 回クロスオーバーコンサート (共催事業)	出演：石川県マーチングバンド協会加盟団体、市吹奏楽団他
2	10 11	日 月祝	地域住民による演劇活性化事業 市民劇団演劇公演 (内容未定)	出演：劇団 nono 対象：一般市民
3	3	日	開館 30 周年記念事業 「ワンダー・シャドウ」	劇団かかし座による影絵のパフォーマンスショー
日程未定			地域の芸術文化普及事業 フォルテ館長ミュージックトーク	地域住民が気軽に音楽を楽しみ、かつ学べる環境づくり。 随時開催予定

イ 情報交流館カメラ（指定管理者：（公財）野々市市情報文化振興財団）

名 称	愛称	住 所	電話番号	開館年月	延床面積
野々市市情報交流館	カメラ	三納一丁目 1	227-6200	H17. 1	2,798 m ²

● 施設概要

<1 階>

- ・キッズコーナー PC12 台
- ・インターネットコーナー 貸出用 PC 2 台
- ・街頭端末 PC 3 台
- ・メディア工房 PC 8 台
- ・メディアスタジオ
- ・サテライトスタジオ
- ・ラウンジ
- ・貸出ブース
- ・創作ギャラリー
- ・財団事務所

<2 階>

- ・ホール椿（1 室利用） 100 m² 100 人
- ・ホール椿（2 室利用） 200 m² 200 人
- ・ホール椿（3 室利用） 300 m² 300 人
- ・201 研修室 44 m² 25 人
- ・202 研修室 53 m² 30 人

<3 階>

- ・301 研修室 30 m² 16 人
- ・302 研修室 60 m² 21 人 PC 8 台

● 利用案内

- ・開館時間 午前 9 時～午後 10 時
- ・休館日 毎月第 2・4 水曜日（水曜日が祝日の時は、その翌日）年末年始、その他特別の事由により臨時休館することがあります。
- ・使用申込み方法
 - ① 連続使用は 10 日間までです。
 - ② 使用する日の 3 か月前の月の初日から使用日の 3 日前までに、許可申請書及び誓約書により申し込んでください。
 - ③ 使用日の 3 日前までに、必要な事項の打合せを行ってください。
 - ④ 使用料は、許可を受け次第前納してください。



こどもセンター事業 チャレンジ教室
じぶん色Tシャツをつくろう！



地域情報化協働推進事業
「野々市シャルソン」
(SNSを活用したまち歩き)



JAXA宇宙航空研究開発機構連携事業
コズミックカレッジ in 野々市



庁舎複合スペース賑わいと交流創出事業
「カメラアまつり」

(平成 29 年度)

情報交流館事業

事業名	事業内容
カメラ紹介・交流サロン利用促進事業	ホームページの運用やパンフレットの作成、広報ののいちを含む各種メディアの活用や貸館スペース等の活用により館の周知と活用促進、事業等の情報発信を図ります。ITサポーターがパソコンツールの操作方法などをわかり易く説明します。また、各イベント等の紹介や成果品を創作ギャラリーで展示します。
カメラパソコン教室	パソコン（win10）入門、office2013 入門等を開講。イラストレーター講座、フォトショップ講座等、自学自習形式のビデオパソコン講座を実施します。また、時事のITに関する話題を取り上げて解説するミニ講座ITことはじめも実施します。
カメラ・パル育成事業	カメラを拠点とした交流と連携によるまちづくりを目指します。「カメラ・パルの会」の活動推進。＜会員数：32名＞
こどもセンター事業	チャレンジ教室の開催によりものづくり体験や環境学習等の機会と交流の場を提供するとともに、こどもセンター放課後子ども教室を設置し、放課後の安全な遊び場を確保します。
地域情報化協働推進事業	地域ポータルサイト「ののいちタウン情報局」を利用し、ツイッターやフェイスブック等新たなメディアを活用しつつ、財団の事業やまちの話題を積極的に発信します。また、各種団体のHP作成支援及びWebスペース提供や、SNSを活用したまち歩きイベントを実施します。
映像制作事業	ビデオ制作のプロセスを通じて、地域の生活や歴史・文化等、市の魅力を再発見する力や、自らのアイディアや想いを、映像を通して発信する力を養います。
科学技術理解増進事業	身近にある科学を実体験し、パソコンを含めた情報通信技術に遊びながら触れることで、科学や科学技術の面白さを体験します。
JAXA連携事業	宇宙開発専門の第一線で活躍する方々による講演や、実験・工作等の体験機会を設けることで、科学や宇宙の面白さを理解し、市民の知的好奇心を刺激する機会を充実します。
市民文化教養講座	多角的に教養を身につけ、多様性を受け入れることのできる心豊かな社会の実現を目指して、館長の哲学講座を開催します。
庁舎複合スペース賑わいと交流創出事業 ～カメラまつり～	様々な団体や大学などが中心となって協力し、地域住民主体の、市民自らの手によるまつりの実施により賑わいのある交流の場を創出し、新たなコミュニティの形成・活性化につなげます。

VIII. スポーツ

1. 基本目標及び基本的施策

(1) 基本目標

スポーツ施設の効果的な活用を図り、生涯にわたりあらゆる機会と場において、だれもが気軽に参加できる生涯スポーツ活動の推進並びに競技スポーツの充実・強化に努めます。

スポーツを通して市民一人ひとりが健康で豊かな生活を営み、かつ積極的に活力あふれる地域社会の相互連携を構築します。

(2) 基本的施策

① 明るく豊かな生活を支える生涯スポーツの推進

- ・市民の健康増進を推進するため、さわやかスポーツフェスティバルやマラソン大会など、各種スポーツイベントの充実を図ります。
- ・ニュースポーツ体験会、トリプルソフトバレー大会等を通じて、ニュースポーツの普及に努めます。
- ・市のホームページや広報等を活用し、イベント等の情報発信に努めます。
- ・スポーツ推進委員の活動強化と資質の向上を図ります。
- ・それぞれの年齢層に応じて気軽に参加できる生涯スポーツ教室の充実に努めます。
- ・スポーツの楽しさや感動等、応援する楽しみを含めた「観る」スポーツの推進を図ります。

② 競技スポーツの充実・強化

- ・石川県民体育大会上位入賞を目指した競技力の向上及び参加競技数の増加に努めます。
- ・優秀な若手選手の発掘や競技力向上のため、指導者の育成に努めます。
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、大会気運の醸成を図ります。

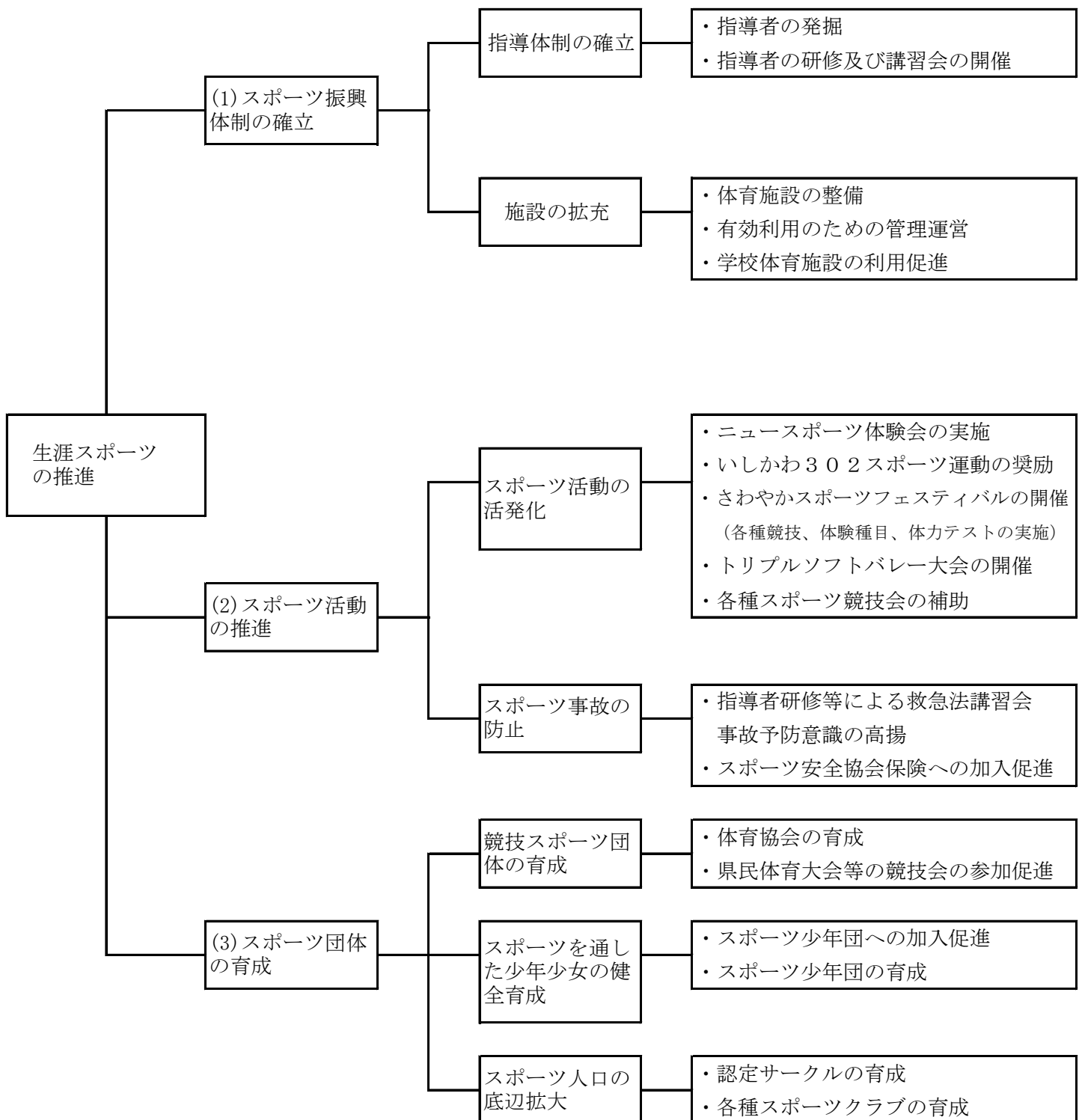
③ スポーツ関係団体の育成によるスポーツ活動の推進

- ・体育協会、スポーツ少年団の自立と活動を支援します。
- ・スポーツ関係団体、スポーツ推進委員協議会、フィットネス協議会との連携を図り、市民の自主的な生涯スポーツ活動への参画を促します。

④ スポーツ施設の整備

- ・体育施設の十分な機能維持のための施設整備及び管理運営に努めます。

2. スポーツ振興施策体系



(1) スポーツ振興体制の確立

① 指導体制の確立

ア スポーツ推進審議会 5月23日(水)

イ スポーツ推進委員協議会

- ・月1回の定例会の開催
- ・市・地域スポーツ事業等への協力
- ・ニュースポーツ体験会の実施

ウ 指導者講習会・研修会の開催

- ・北陸地区スポーツ推進委員研修会
6月23日(土)～6月24日(日)
開催地 石川県白山市
- ・金沢地区スポーツ推進委員研修会
平成30年7月7日 開催地 津幡町

② 施設の拡充

ア スポーツ施設の整備

- ・スポーツセンター排煙オペレーター修繕工事
- ・スポーツセンター照明器具取替工事
- ・市民野球場防球ネット修繕工事
- ・市民野球場防球グラウンド改修工事
- ・スポーツランド高圧ケーブル取替工事

イ 体育施設の管理運営

- ・計画的、効率的な管理運営

ウ 学校体育施設の利用促進

- ・学校体育施設開放運営委員会及び
学校体育施設開放指導員打ち合わせ会の開催
4月25日(水)

(2) スポーツ活動の推進

① スポーツ活動の活発化

ア 生涯スポーツ活動推進事業

- ・さわやかスポーツフェスティバル2018
6月3日(日)、10日(日) 中心会期
市民体育館他



ニュースポーツ体験会(トリプルソフトバレー)



金沢地区スポーツ推進委員研修会



さわやかスポーツフェスティバル

- ・第22回野々市市小学生相撲大会
9月1日（土）市相撲場
- ・第37回野々市じょんからの里マラソン大会
10月21日（日）市内マラソンコース
- ・第10回野々市市トリプルソフトバレー大会
平成31年3月10日（日）市民体育館

イ スポーツ情報の提供

- ・スポーツガイドの発行
- ・チラシ、ポスターの発行による行事案内
- ・市広報・ホームページによる行事案内
- ・えふえむ・エヌ・ワン「ホームタウン野々市」での行事案内

ウ 全国スポーツ大会等出場選手への助成

- ・激励費等の支給

エ 顕 彰

- | | |
|--------------|--------------------|
| ・ 県 関 係 | ・ 生涯スポーツ功労者表彰 |
| | ・ 生涯スポーツ優良団体表彰 |
| ・ 県体育協会関係 | ・ 体育協会功労者表彰 |
| | ・ スポーツ少年団指導育成功労者表彰 |
| ・ 市 関 係 | ・ 特別栄誉表彰 |
| | ・ スポーツ功労表彰 |
| ・ 教育委員会関係 | ・ 教育功労表彰 |
| | ・ 教育振興表彰 |
| ・ 体育協会関係 | ・ 体育功労賞 |
| | ・ スポーツ賞 |
| | ・ スポーツ奨励賞 |
| ・ スポーツ少年団関係 | ・ 特別功労者表彰 |
| | ・ 功労者表彰 |
| | ・ 優秀クラブ表彰 |
| ・ スポーツ推進委員関係 | ・ 県スポーツ推進委員協議会表彰 |

② スポーツ事故の防止

- ・ 各種スポーツ団体へのスポーツ安全協会保険加入促進
- ・ スポーツ傷病の予防と応急手当で講習会
12月開催予定



じょんからの里マラソン大会



AED実技

(3) スポーツ団体の育成

① 競技スポーツ団体の育成

ア 体育協会 30団体（さわやかスポーツフェスティバルへの積極参加及び各種大会参加に向けた競技力の向上並びにスポーツの普及）

- ・第70回石川県民体育大会 夏季大会

8月11日（土）・12日（日） 輪島市を主会場

- ・第71回石川県民体育大会 冬季大会

平成31年2月末予定 白山市

- ・競技強化委員会による競技力の向上

- ・市民を対象としたスポーツ教室の開催（弓道、トランポリン、グラウンド・ゴルフ等）

② スポーツを通した少年少女の健全育成

ア スポーツ少年団17クラブ（少年少女の健全育成、スポーツ人口の底辺拡大）

- ・指導者・保護者研修会

6月30日（土）市民体育館会議室

- ・清掃奉仕活動

6月初旬～ 市内各小学校他

- ・体力テスト会

12月2日（日）市民体育館

- ・リーダー研修会

平成31年1月12日（土）・13日（日）白山青年の家

- ・総合交歓会

平成31年2月24日（日）市民体育館



指導者・保護者研修会

イ 各種団体

- ・スポーツ連盟クラブ 3団体

- ・認定サークル

一般スポーツクラブ 35団体

高齢者スポーツクラブ 2団体



石川県民体育大会 夏季大会結団式



高齢者スポーツクラブ 定期活動

ウ スポーツ団体一覧

a 体育協会加盟団体

	協 会 名	代 表 者 名	加 盟 年 月
1	野々市市バレーボール協会	小川幸人	昭和49年10月
2	野々市市剣道協会	石田良成	昭和48年8月
3	野々市市陸上競技協会	笠間 悟	昭和48年4月
4	野々市市卓球協会	松田秀明	昭和50年10月
5	野々市市弓道協会	谷内正博	昭和49年12月
6	野々市市ソフトボール協会	糸魚川 武志	昭和50年4月
7	野々市市クレー射撃協会	古田 剛	昭和50年4月
8	野々市市ボウリング協会	辻 禎弘	昭和50年6月
9	野々市市野球協会	北本 正	昭和52年4月
10	野々市市バスケットボール協会	中村義彦	昭和52年10月
11	野々市市テニス協会	吉田康志	昭和55年4月
12	野々市市バドミントン協会	安原 透	昭和55年3月
13	野々市市スキー協会	中山 巖	昭和55年11月
14	野々市市ソフトテニス協会	橘 里志	昭和57年1月
15	野々市市空手道協会		昭和57年4月
16	野々市市相撲連盟	金村哲夫	昭和57年7月
17	野々市市トランポリン協会	吉田 修	昭和58年6月
18	野々市市サッカー協会	会長選任中	昭和59年4月
19	野々市市水泳協会	北村大助	昭和59年4月
20	野々市市ゲートボール協会	北出武夫	昭和59年4月
21	野々市市柔道協会	田中教崇	昭和61年3月
22	野々市市山岳協会	吉田 修	平成元年4月
23	野々市市グラウンドゴルフ協会	安嶋 一夫	平成4年4月
24	野々市市ゴルフ協会	魚住正栄	平成4年4月
25	野々市市太極拳協会	高野 晃	平成14年1月
26	野々市市ラグビーフットボール協会	水口政尚	平成15年4月
27	野々市市パークゴルフ協会	岡本 正	平成18年4月
28	野々市市少林寺拳法協会	石原 晋	平成19年4月
29	野々市市バウンドテニス協会	吉田 修	平成24年10月
30	野々市市ハンドボール協会	桜井 渉	平成26年4月
31	野々市市自転車協会	殿村和也	平成29年4月

b スポーツ少年団加盟団体

No.	団 体	発足年度	No.	団 体	発足年度
1	野々市剣道スポーツ少年団	昭和48年	10	御園ミニバスケットボールクラブ	昭和56年
2	野々市市柔道スポーツ少年団	昭和54年	11	菅原学童野球クラブ	昭和58年
3	野々市少年少女トランポリンクラブ	昭和56年	12	菅原少年サッカークラブ	昭和58年
4	野々市ジュニアバドミントンクラブ	昭和61年	13	菅原ミニバスケットボールクラブ	昭和59年
5	野々市市ジュニアソフトテニスクラブ	平成26年	14	富陽学童野球クラブ	昭和63年
6	野々市学童野球クラブ	昭和56年	15	富陽サッカークラブ	昭和62年
7	野々市ジュニアサッカークラブ	平成2年	16	館野学童野球クラブ	昭和59年
8	野々市ミニバスケットボールクラブ	平成2年	17	館野ミニバスケットボールクラブ	昭和59年
9	御園学童野球クラブ	昭和55年			

c スポーツ連盟

● ソフトボール連盟 5チーム

クラブ名	対 象	クラブ名	対 象
住 吉 ク ラ ブ	一 般	ピ ン ク パ ン サ ー	一 般
オ ク タ カ ダ ッ チ ャ ン ズ	〃	栗 田 ソ フ ト ク ラ ブ	〃
セ ン チ ュ リ ー 2 1	〃		

● 壮年ソフトボールクラブ 8チーム

クラブ名	対 象	クラブ名	対 象
あやめレインボークラブ	一般壮年男子	稲荷壮年ソフトボールクラブ	一般壮年男子
栗田壮年ソフトクラブ	〃	エ レ フ ァ ン ト	〃
の ら く ろ ク ラ ブ	〃	位 川 ソ フ ト ボ ー ル ク ラ ブ	〃
新庄壮年ソフトボールクラブ	〃	若 松 パ ワ ー ス ト ー ン ズ	〃

● 早朝日曜野球連盟 8チーム

クラブ名	対 象	クラブ名	対 象
ツ イ ス タ ー	一 般	野 々 市 ス パ ロ ー ズ	一 般
M N O	〃	野 々 市 市 役 所	〃
ブ ル ー ダ ン サ ー ズ	〃	ブ ル ー ス ト ー ン ズ	〃
栗 田 ク ラ ブ	〃	高 桑 美 術 印 刷	〃

d 市内スポーツクラブ・サークル

《女性対象》 (14クラブ)

クラブ名	活動内容	活動場所
レディーズ野々市	軽スポーツ等	市民体育館
野々市卓球クラブ	卓球	市民体育館
野々市レインボー	トランポリン	市民体育館
野々市バドミントンクラブ	バドミントン	野々市中学校 市民体育館
風 雅	スポーツダンス	スポーツセンター
ボ デ イ A	アイドルダンス	スポーツセンター
S C D マ リ ー ゴ ー ル ド	スコティッシュカントリーダンス	スポーツセンター
野々市レディーススイミングクラブ	水泳練習	スポーツランドプール
ア ク ア ビ ク ス 2 0 0 0	水中エアロビクス	スポーツランドプール
T ・ V ・ C	バレーボール	菅原小学校
サ ク セ ス	バレーボール	菅原小学校
み そ の ク ラ ブ	バレーボール	御園小学校
W E E D	バスケットボール	野々市小学校
N ' w i t h	バレーボール	富陽小学校

《一般対象》 (20クラブ)

クラブ名	活動内容	活動場所
フレッシュテニスクラブ 茜	フレッシュテニス	市民体育館
野々市市トランポリン愛好会	トランポリン	市民体育館
グリッパークラブ	バドミントン	市民体育館
ファイヤー・クロス	ソフトバレーボール	市民体育館
タウンビート	ジャズダンス	スポーツセンター
野々市太極拳クラブ	太極拳	スポーツセンター
野々市クラブ	バスケットボール	野々市小学校 スポーツセンター
野々市サッカークラブ	サッカー	布水中学校 富陽小学校
館野バドミントンサークル	バドミントン	館野小学校
びゅあーズ	ソフトバレーボール	御園小学校
野々市空手クラブ	空手道	武道館
少林寺拳法石川野々市クラブ	少林寺拳法	武道館
野々市市走ろう会	ジョギング	文化会館フォルテ周辺
野々市市スノーボード協会	スノーボード	白山麓スキー場
w i l l	トリムバレーボール	野々市中学校
楽しい山の会	登山	県内及び北陸三県等
日本空手協会野々市道場	空手道	館野小学校 富陽小学校
空手野々市クラブ	空手道	富陽小学校
野々市ウキウキ・ウォーキング	ウォーキング	あらみや公園周辺
武道エクササイズ	武道エクササイズ	館野小学校
野々市空手道場	空手道	館野小学校

《高齢者対象》 (2クラブ)

クラブ名	活動内容	活動場所
野々市若葉健康クラブ	軽スポーツ等	市民体育館
野々市椿健康クラブ	軽スポーツ等	スポーツセンター

3. 体育施設

(1) 社会体育施設

① 施設概要

単位：㎡

施設名	位置	規模	施設内容	完成年月日
野々市市民体育館	下林三丁目97	4,433 駐車場 2,303	大体育室 (42.40m×34.45m) 小体育室 (22.00m×13.50m) トレーニング室 ランニングコース (1周148m) 会議室	昭和55年11月30日
野々市市武道館	位川183	1,072	柔道場 (14.92m×18.42m) 剣道場 (14.92m×22.10m) 研修室	昭和53年1月12日
野々市市弓道場	太平寺三丁目128	170.91	射場棟 (89.43㎡) 的場棟 (26.75㎡) トイレ木造平屋建	昭和56年9月30日 平成22年3月25日
野々市市民野球場 雨天練習場	下林三丁目97	14,754 168 駐車場 822	両翼91.5m 中堅120m 管理棟スコアボード 内野スタンド 1,300人 } 収容 外野スタンド 1,600人 } 夜間照明 (12,778㎡) 内野 (1,150ルクス) 外野 (600ルクス) 照明塔 (6基) 野球・ソフトボール投球練習用 2面	昭和61年9月29日 昭和62年12月15日
野々市市相撲場	下林三丁目97	886	入母屋型屋根付 (照明有) 観客約400席	昭和63年8月31日
野々市中央公園 テニスコート	下林三丁目97	1,600	全天候型コート 2面 夜間照明 被照明面積 (1,600㎡) 平均照度 (250ルクス) 照明塔 (4基)	昭和55年3月30日
野々市中央公園 運動広場	下林三丁目97	9,123	ソフトボール場 1面 夜間照明 被照明面積 (8,000㎡) 平均照度 (350ルクス) 照明塔 (6基)	昭和55年11月30日
ジョギングコース	下林三丁目		ジョギングコース ブルーコース 1,200m レッドコース 900m イエローコース 500m	平成2年3月26日
野々市市健康広場	上林一丁目180	16,713	ソフトボール場 2面 ジュニア用サッカー場 1面 管理棟	昭和53年3月30日
押野中央公園 運動広場	押野一丁目339	5,860	ソフトボール場 1面	昭和61年3月25日

野々市市 スポーツランド	中林五丁目 1-1	25, 276	○プール 研修室 40名収容 競泳用温水プール 25m×15m 児童用温水プール 10.5m×6.3m トレーニングプール、ジャグジー プール ウォーターアスレチックプール 16m×22m 流水プール 72m×5m ○さわやかホール クレー舗装ゲートボールコート 2面 ○テニスコート 砂入り人工芝コート 4面 〃 壁打ちコート 1面 夜間照明 被照明面積 2,700㎡ 平均照度 350ルクス 照明塔 20基 ○ふれあい広場 芝張り多目的広場 3,713㎡	平成4年3月25日
野々市市 スポーツセンター	押野二丁目30	5, 542	アリーナ (44.5m×33.4m) サブアリーナ (22.6m×12.3m) ランニングコース (1週160m) トレーニングルーム 会議室	平成3年11月29日

② 施設の利用状況

平成29年度野々市市体育施設の利用状況及び使用料報告

単位：件、人、円

施設名	利用件数	利用者総数	使用料
市民体育館	47,415	86,939	1,314,475
市民体育館（回数券）			149,500
市民野球場	541	13,634	1,202,825
中央公園テニスコート	1,169	3,636	887,450
スポーツセンター	35,619	76,638	1,182,250
スポーツセンター（回数券）			338,000
武道館	974	18,083	55,800
弓道場	2,993	5,716	0
中央公園運動広場	278	13,138	487,500
押野中央公園運動広場	115	4,304	130,950
健康広場	123	5,172	262,750
相撲場	2	463	0
スポーツランド・テニスコート	6,608	15,503	2,612,850
スポーツランド・さわやかホール	998	16,703	336,250
スポーツランド・プール	34,746	62,290	4,943,375
スポーツランド・研修室	24	142	0
スポーツランド（回数券）			228,000
合 計	131,605	322,361	14,131,975

(2) 学校体育開放施設

① 施設概要及び利用について

施 設 名		使用できる時間	利 用 の 範 囲 等
野々市中学校	運 動 場	日曜・祝日 午前9時～午後6時	社会教育関係団体のスポーツ活動 登録スポーツクラブ・連盟活動
	運 動 場 夜 間 照 明	平 日 午後7時～午後9時	
	体 育 館	平 日 午後7時～午後10時 日曜・祝日 午前9時～午後6時	登録スポーツクラブ活動を原則とします。
布水中学校	運 動 場	日曜・祝日 午前9時～午後6時	社会教育関係団体のスポーツ活動 登録スポーツクラブ・連盟活動
	運 動 場 夜 間 照 明	平 日 午後7時～午後9時	
野々市小学校	運 動 場	平 日 午後4時～日没 土曜日 午前9時～日没 日曜・祝日 午前9時～午後6時	少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動
	体 育 館	平 日 午後4時～午後10時 土曜日 午前9時～午後10時 日曜・祝日 午前9時～午後6時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、 社会教育関係団体行事を原則とします。
御園小学校	運 動 場	平 日 午後4時～日没 土曜日 午前9時～日没 日曜・祝日 午前9時～午後6時	少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放
	体 育 館	平 日 午後4時～午後10時 土曜日 午前9時～午後10時 日曜・祝日 午前9時～午後6時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、 社会教育関係団体行事を原則とします。
菅原小学校	運 動 場	平 日 午後4時～日没 土曜日 午前9時～日没 日曜・祝日 午前9時～午後6時	少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放
	体 育 館	平 日 午後4時～午後10時 土曜日 午前9時～午後10時 日曜・祝日 午前9時～午後6時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、 社会教育関係団体行事を原則とします。
富陽小学校	運 動 場	平 日 午後4時～日没 土曜日 午前9時～日没 日曜・祝日 午前9時～午後6時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放
	体 育 館	平 日 午後4時～午後10時 土曜日 午前9時～午後10時 日曜・祝日 午前9時～午後6時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、 社会教育関係団体行事を原則とします。
館野小学校	運 動 場	平 日 午後4時～日没 土曜日 午前9時～日没 日曜・祝日 午前9時～午後6時	少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放
	体 育 館	平 日 午後4時～午後10時 土曜日 午前9時～午後10時 日曜・祝日 午前9時～午後6時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、 社会教育関係団体行事を原則とします。
※ 但し、使用できる日時については上記以外に学校教育上支障がないと認められた場合においては使用することができる。 全施設とも12月28日～1月4日は使用不可。			

② 利用状況

平成29年度 学校体育施設開放利用状況

H29年4月～H30年3月

		スポーツ少年団		一 般 ク ラ ブ		ナイターソフト連盟		社会教育関係		町 内 会 等		市教育委員会関係等		スポーツ講習会・教室		そ の 他		合 計	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
野々市小	運動場	163	4,869					1	40	4	1,744	1	30					169	6,683
	体育館	494	13,050	111	2,020			23	2,040	3	116	2	145					633	17,371
	小体育館																		
御園小	運動場	69	1,909					2	180	3	1,335							74	3,424
	体育館	295	8,181	159	2,717			45	3,430	2	50	4	290	9	135			514	14,803
	小体育館																		
菅原小	運動場	151	3,261					6	880									157	4,141
	体育館	340	7,663	204	2,457			18	1,940			2	145					564	12,205
	ブレイルーム																		
	小体育館																		
富陽小	運動場	196	7,136							4	4,030	1	140					201	11,306
	体育館	90	3,219	166	3,270			17	1,665	4	160			31	555			308	8,869
	ブレイルーム																		
館野小	運動場	104	2,632															104	2,632
	体育館	231	6,558	144	3,182							1	20					376	9,760
	ブレイルーム																		
野々市中	運動場											3	750					3	750
	体育館			101	1,748									4	100			105	1,848
布水中	運動場			116	1,635	40	1,076									1	300	157	3,011
	体育館																		
	プール																		
小 計	運動場計	683	19,807	116	1,635	40	1,076	9	1,100	11	7,109	5	920			1	300	865	31,947
	体育館計	1,450	38,671	885	15,394			103	9,075	9	326	9	600	44	790			2,500	64,856
	小体育館計																		
	ブレイルーム計																		
	プール計																		
総 合 計		2,133	58,478	1,001	17,029	40	1,076	112	10,175	20	7,435	14	1,520	44	790	1	300	3,365	96,803

各種委員会委員等

市 特 別 職

市 長	栗 貴 章
副 市 長	常 田 功 二

教 育 委 員

教 育 長	堂 坂 雅 光
職 務 代 理	松 野 勝 夫
委 員	荻 野 直 子
〃	松 本 哲 幸
〃	宮 川 美保子
〃	安 嶋 是 晴

野々市市教育支援委員会

委 員 長	浅 井 恭 一	
委 員	中 村 英 夫	
〃	西 村 優紀美	
〃	永 田 紀 子	
〃	紺 村 和 也	(野々市小学校)
〃	島 倉 晴 信	(御園小学校)
〃	中 野 淳 子	(菅原小学校)
〃	池 岸 晃 弘	(富陽小学校)
〃	田 中 敏	(館野小学校)
〃	北 一 也	(野々市中学校)
〃	福 永 伸 治	(布水中学校)
〃	徳 野 伸 一	(子育て支援課長)
〃	東 有 子	(富奥保育園長)
〃	松 田 英 樹	(学校教育課長)

野々市市教育センター運営協議会

会 長	藤 森 慎 一	
副 会 長	田 中 敏	(館野小学校)
委 員	中 野 恵美子	
〃	田 中 和 子	(発達相談センター所長)
〃	番 井 則 之	(御園小学校)

社会教育委員会

議 員	山 本 邦 継	(学識経験者)
委 員	高 見 重 任	(文化協会)
〃	臼 井 ゆかり	(学識経験者)
〃	笠 間 悟	(市公民館連合会)
〃	川 上 秀 子	(学識経験者)
〃	北 村 暁 成	(学識経験者)
〃	桑 村 佐和子	(学識経験者)
〃	紺 村 和 也	(市校長会)
〃	辻 禎 弘	(市子ども会育成連絡協議会)
〃	中 江 洋 美	(学識経験者)
〃	松 岡 砂都美	(女性協議会)
〃	宮 川 和 彦	(学識経験者)
〃	宮 川 涉	(体育協会)
〃	宮 森 恒 成	(PTA連合会)
〃	吉 道 悦 子	(学識経験者)

公 民 館 長 等

中 央 公 民 館	田多野 和 彦
野々市公民館	笠 間 悟
富 奥 公 民 館	長谷川 芳 彦
郷 公 民 館	番 作 隆 行
押 野 公 民 館	亥 野 正 治
少年育成センター	山 本 邦 継
女性センター	大 村 礼 子
富奥防災コミュニティセンター	長谷川 芳 彦

公民館運営審議会

中央公民館

委 員	上 野 弘 子	
〃	井 川 かすみ	
〃	魚 住 文 男	
〃	久 保 哲 造	
〃	塩 田 健	
〃	辻 禎 弘	
〃	中 野 淳 子	(菅原小学校)
〃	藤 田 雅 顯	
〃	帆 苅 宏 典	
〃	山 岸 富 明	

野々市公民館

委	員	久	保	哲	造
		後	藤	龍	哉
〃		紺	村	和	也
〃		田	中	陽	子
〃		宮	崎	幹	子

(野々市小学校)

富奥公民館

委	員	池	岸	晃	弘
		池	田	千可	子
〃		西	村	信	夫
〃		向	田	誠	市
〃		山	岸	富	明

(富陽小学校)

郷公民館

委	員	塩田健
〃	島倉晴信	
〃	西野辰雄	
〃	福田美智代	
〃	松本信孝	

(御園小学校)

押野公民館

委		員		北		勝		之
	〃			田	中			敏
	〃			中	川	昌		一
	〃			西	野	あかね		
	〃			藤	田	雅		顯

(館野小学校)

図書館協議会

委	員	石	田	元	彦
〃		奥	田	満喜	子
〃		川	上	秀	子
〃		副	田	千恵	子
〃		帆	苅	宏	典
〃		松	本	哲	幸

女性センター運営委員会

委	員	黒	部	美恵子
〃		福	井	満佐美
〃		村	上	治 美
〃		山	口	知 子
〃		吉	岡	いすず

青少年問題協議会

会	長	栗	貴	章	(市長)
委	員	絹	川	博	(民生・主任児童委員)
		大	倉	香奈子	(野々市明倫高等学校)
	〃	本	田	和也	(PTA連合会)
	〃	澤	村	昭夫	(保護司会)
	〃	池	岸	晃弘	(富陽小学校)
	〃	副	田	千恵子	(女性協議会)
	〃	藤	田	雅顯	(連合町内会)
	〃	岡	田	晴彦	(社会福祉協議会)
	〃	常	盤	秀樹	(石川中央保健福祉センター)
	〃	成	宮	寛	(白山警察署)
	〃	山	本	邦継	(社会教育委員)
	〃	堂	坂	雅光	(教育長)
	〃	小	川	幸人	(健康福祉部長)
	〃	大久保	邦彦		(教育文化部長)
幹	事	松	田	英樹	(学校教育課長)
	〃	横	山	貴広	(生涯学習課長)

少年育成センター運営協議会

会	長	絹	川	博	(民生・主任児童委員)
副	会	清	水	晴美	(布水中学校)
委	員	稲	村	佐紀子	(県警委託補導員)
	〃	亥	野	正治	(“ののいちっ子を育てる”市民会議)
	〃	小山内	裕之		(菅原小学校)
	〃	後	藤	龍哉	(市子ども会育成連絡協議会)
	〃	戸	田	多河良	(保護司会)
	〃	富	澤	忍	(業界代表)
	〃	中	野	賢一	(学校教育課)
	〃	中	村	行也	(県青少年育成推進指導員)
	〃	長	田	定通	(野々市交番)
	〃	野	村	武志	(PTA連合会)
	〃	山	崎	しのぶ	(野々市明倫高等学校)
	〃	若	狭	朋幸	(野々市中学校)

青少年メディア対策連絡協議会

会	長	大久保 邦彦	(教育文化部長)
副	会 長	田 中 敏	(館野小学校)
委	員	宮 川 和彦	(“ののいちっ子を育てる” 市民会議)
	〃	村 井 繁夫	(PTA連合会)
	〃	松 本 裕昭	(PTA連合会)
	〃	榊 原 清志	(教育センター)
	〃	番 井 則之	(御園小学校)
	〃	国 沢 雄介	(布水中学校)
	〃	金 場 康宏	(情報文化振興財団)
	〃	山 本 邦継	(少年育成センター)
幹	事	松 田 英樹	(学校教育課長)
	〃	横 山 貴広	(生涯学習課長)

文化財保護審議会

会	長	徳 田 寿 秋
委	員	三 浦 純 夫
	〃	北 春 千 代
	〃	小 林 忠 雄
	〃	木 越 隆 三

野々市市遺跡整備委員会

委	員 長	谷内尾 晋 司
副	委 員 長	土 肥 孝
委	員	松 村 恵 司
	〃	三 浦 純 夫

スポーツ推進審議会

会	長	宮 川 渉
副	会 長	牧 口 茂 子
委	員	濱 田 利 幸
	〃	北 川 千 里
	〃	坂 尻 悦 子

学校体育施設開放運営委員会

委	員	若 狭 朋 幸	(野々市中学校)
	〃	清 水 晴 美	(布水中学校)
	〃	高 橋 ひろ美	(野々市小学校)
	〃	作 田 有 子	(御園小学校)
	〃	小山内 裕 之	(菅原小学校)
	〃	棟 野 章	(富陽小学校)
	〃	脇 田 誉志昭	(館野小学校)
	〃	西 村 敬 司	
	〃	平 野 雅 人	
	〃	柚 木 広太郎	
	〃	古 源 興 市	
	〃	勝 井 幸 太	
	〃	北 村 恵	
	〃	山 原 美智子	
	〃	押 田 克 夫	
	〃	竹 山 美恵子	
	〃	橋 本 孝	

スポーツ推進委員協議会

会	長	西 野 辰 雄
副	会 長	永 井 敏 昌
	〃	一ノ谷 美知子
委	員	安 中 秀 行
	〃	森 岡 孝 之
	〃	沢 口 了 章
	〃	亥 野 正 治
	〃	村 田 元 治
	〃	黒 瀬 千代子
	〃	西 谷 真知子
	〃	川 井 智 子
	〃	高 坂 良 恵
	〃	竹 田 優 子
	〃	塚 弘 子
	〃	小 寺 くるみ
	〃	小 森 朱 那
	〃	阿字地 千 穂

市立学校長等

野々市小学校	校長	紺村和也	教頭	高橋ひろ美
御園小学校	〃	島倉晴信	〃	作田有子
菅原小学校	〃	中野淳子	〃	小山内裕之
富陽小学校	〃	池岸晃弘	〃	棟野章
館野小学校	〃	田中敏	〃	脇田誉志昭
野々市中学校	〃	北一也	〃	若狹朋幸
布水中学校	〃	福永伸治	〃	清水晴美

他市内学校長等

北陸学院扇が丘幼稚園	園長	出村るり子
青竜第二幼稚園	〃	和田節子
石川県立野々市明倫高等学校	校長	中村義治
石川県立明和特別支援学校	〃	松島明広
石川県公立大学法人石川県立大学	学長	熊谷英彦
国際高等専門学校	校長	ルイス・パークスデール
金沢工業大学	学長	大澤敏

歴 代 教 育 長 ・ 教 育 委 員

氏 名	就任年月日	退任年月日	備 考
中 島 栄 治	S 31. 10. 1	S 34. 1. 31	委員長 S 31.10. 1 ～ S 34. 1.31
福 田 栄 正	S 31. 10. 1	S 32. 9. 30	
西 村 伸一郎	S 31. 10. 1	S 42. 9. 30	委員長 S 34. 2. 1 ～ S 42. 9.30
中 川 直 二	S 31. 10. 1	S 47. 3. 31	委員長 S 42.10. 1 ～ S 47. 3.31
松 崎 時 哉	S 31. 10. 1	S 35. 9. 30	教育長
中 山 知 二	S 32. 10. 1	S 36. 3. 31	
河 村 好一郎	S 34. 4. 1	S 46. 3. 29	
長 田 健	S 35. 10. 1	S 37. 10. 28	教育長
小 柳 正 明	S 36. 4. 1	S 47. 3. 9	
竹 内 保 之	S 37. 12. 18	S 46. 12. 16	教育長
中 野 栄 吉	S 42. 10. 1	S 46. 9. 30	
中 野 久 男	S 46. 6. 11	S 59. 9. 30	委員長 S 47. 4. 1 ～ S 51. 9.30
宮 前 和 夫	S 46. 10. 1	S 58. 9. 30	委員長 S 51.10. 1 ～ S 55. 9.30
中 田 哲	S 46. 12. 24	S 51. 9. 30	教育長
魚 住 正 元	S 47. 3. 10	S 51. 3. 12	
岡 田 一 郎	S 47. 6. 30	S 57. 9. 30	委員長 S 55.10. 1 ～ S 57. 9.30
絹 川 清	S 51. 3. 12	S 54. 12. 20	
埜 谷 博	S 51. 10. 1	S 55. 9. 30	教育長 (就任 S 51.10. 7)
宮 岸 光	S 54. 12. 21	H 6. 5. 26	委員長 S 57.10. 1 ～ S 61. 9.30
東 谷 弘	S 55. 10. 1	H 8. 9. 30	教育長
坂 本 六 郎	S 57. 10. 1	H 6. 9. 30	委員長 S 61.10. 1 ～ H 2. 9.30
木 村 博	S 58. 10. 1	S 62. 9. 30	
高 桑 繁	S 59. 10. 1	H 12. 9. 30	委員長 H 2.10. 1 ～ H 6. 9.30
矢 野 喜一郎	S 62. 10. 1	H 7. 9. 30	委員長 H 6.10. 1 ～ H 7. 9.30
喜 多 禎 一	H 6. 6. 20	H 21. 9. 30	委員長 H 7.10. 1 ～ H 11. 9.30
清 水 外司英	H 6. 10. 1	H 22. 9. 30	委員長 H 11.10. 1 ～ H 15. 9.30
宮 前 定 夫	H 7. 10. 1	H 14. 9. 30	
田 村 昌 俊	H 8. 10. 1	H 16. 9. 30	教育長
北 本 正	H 12. 10. 1	H 28. 9. 30	委員長 H 15.10. 1 ～ H 26. 9.30
鶴 見 光 男	H 14. 10. 1	H 19. 9. 30	
田 中 宣	H 16. 10. 1	H 20. 3. 30	教育長
徳 田 寿 秋	H 19. 10. 1	H 27. 9. 30	
村 上 維 喜	H 20. 3. 31	H 24. 9. 30	教育長
荻 野 直 子	H 20. 10. 1	在 任 中	
中 野 恵美子	H 21. 10. 1	H 29. 9. 30	
松 野 勝 夫	H 22. 10. 1	在 任 中	委員長 H 26.10. 1 ～ H 28. 9.30
堂 坂 雅 光	H 24. 10. 1	在 任 中	教育長
松 本 哲 幸	H 27. 10. 1	在 任 中	
宮 川 美保子	H 28. 10. 1	在 任 中	
安 嶋 是 晴	H 29. 10. 1	在 任 中	

市内施設住所・電話番号一覧

名 称	住 所	電話番号	名 称	住 所	電話番号
公 共 施 設			㉔館 野 小 学 校	押 野 三 丁 目 7 1	248-0622
①野々市市役所	野々市市三納一丁目1	227-6000	㉕野々市中学校	三 納 三 丁 目 1	246-0115
①野々市市教育委員会	〃	227-6111	①布 水 中 学 校	押 野 二 丁 目 1 0 0	248-0039
①野々市市情報交流館カメリア	〃	227-6200	①県立明和特別支援学校	中 林 四 丁 目 7 0	246-1133
②野々市市東部浄水場	高 橋 町 3 - 3 3	—	㉖県立野々市明倫高等学校	下 林 三 丁 目 3 0 9	246-3191
③野々市市南部・北部浄水場	新 庄 二 丁 目 2 2	—	①石 川 県 立 大 学	末 松 一 丁 目 3 0 8	227-7220
④野々市市文化会館フォルテ	本 町 五 丁 目 4 - 1	248-8000	㉗金 沢 工 業 大 学	扇 が 丘 7 - 1	248-1100
⑤野々市市教育センター	本 町 四 丁 目 21-27	248-8456	㉘野々市市学校給食センター	太平寺三丁目 126-1	246-3066
⑤野々市市少年育成センター	〃	294-8815	社 会 福 祉 施 設		
⑥野々市市スポーツセンター	押 野 二 丁 目 3 0	294-5511	㉙中 央 保 育 園	本 町 三 丁 目 2 - 2 2	248-0240
⑦野々市市中央公民館	} 現 在 休 館 中 (H31. 4 開 館 予 定)	248-0521	①富 奥 保 育 園	中 林 五 丁 目 3 0	248-0828
⑦野々市市野々市公民館		248-0521	㉚押 野 保 育 園	押 野 三 丁 目 1 1 5	248-0343
⑧欠番			野々市市押野児童館	〃	248-9666
⑨野々市市富奥公民館 (野々市市富奥防災コミュニティセンター)	中 林 五 丁 目 3 - 2 2	248-0829	㉛御 経 塚 保 育 園	御 経 塚 一 丁 目 2 8 8	248-0181
⑩野々市市郷公民館	田 尻 町 9 4	248-0250	㉜幼保連携型認定こども園あわだこども園	栗 田 五 丁 目 3 3 0	246-3737
⑪野々市市押野公民館	押 野 三 丁 目 7 0	248-2839	㉝ほりうちこども園	堀 内 四 丁 目 1 6 0	248-2320
⑫学びの杜のいちカレード	太 平 寺 四 丁 目 1 5 6	248-8099	㉞あすなろ保育園	御 経 塚 五 丁 目 3 0	246-0211
⑬末 松 廃 寺 収 蔵 庫	末 松 二 丁 目		㉟はくさん保育園	白 山 町 4 - 2	248-4337
⑭野々市市埋蔵文化財収蔵庫	御 経 塚 一 丁 目 1 8 2	246-0133	㊱幼保連携型認定こども園和光	扇 が 丘 1 5 - 5	248-6250
⑭野々市市ふるさと歴史館	〃	246-0133	㊲つばき保育園	太 平 寺 一 丁 目 3 0 2	248-1155
⑮野々市市郷土資料館	本 町 三 丁 目 1 9-2 4	246-2672	㊳子育て支援センター菅原	菅 原 町 8 - 3 3	248-4634
⑯野々市市武道館	位 川 1 8 3	246-4985	㊴幼保連携型認定こども園エンジェル保育園	本 町 六 丁 目 2 2-1	248-2888
⑰野々市市民体育館	下 林 三 丁 目 9 7	248-1223	㊵ふじひら保育園	藤 平 1 4 2	246-1181
⑱野々市中央公園テニスコート	〃	〃	㊶野々市市保健センター	三 納 三 丁 目 1 2 8	248-3511
⑲野々市中央公園運動広場	〃	〃	㊷社 会 福 祉 法 人 野々市市社会福祉協議会	本 町 五 丁 目 1 8-5	246-0112
⑳野々市市相撲場	〃	〃	㊸野々市市老人福祉 セ ン タ ー 椿 荘	矢 作 三 丁 目 1 - 2	246-5570
㉑野々市市民野球場	〃	〃	㊹野々市市中央児童館	〃	248-5325
㉒愛と和のギャラリーのいち椿館	下 林 三 丁 目		㊺野々市市デイサービスセンター	矢 作 三 丁 目 3	248-9900
㉓野々市市弓道場	太 平 寺 三 丁 目 1 2 8	248-0067	㊻野々市市本町児童館	本 町 三 丁 目 1 0-1 2	246-3881
㉔野々市市健康広場	上 林 一 丁 目 1 8 0	248-1223	㉜野々市市女性センター	稲 荷 四 丁 目 1 5 5	246-0810
㉕野々市市スポーツランド	中 林 五 丁 目 1 - 1	294-5800	㉝石 川 県 百 々 鶴 荘	上 林 一 丁 目 1 7 9	248-4775
㉖押野中央公園運動広場	押 野 一 丁 目 3 3 9	248-1223	㉞セ ル プ は く さ ん	末 松 二 丁 目 2 2 9	248-9300
㉗野々市市交遊舎	二 日 市 一 丁 目 2	294-8166	㉟欠番		
㉘白山警察署野々市交番	本 町 六 丁 目 2 2-2	248-0059	㊱石川障害者職業能力開発校	末 松 二 丁 目 2 4 5	248-2235
㉙白山警察署野々市南交番	藤 平 1 3 8 - 1	294-1500	㊲サニーメイト福祉工場	末 松 二 丁 目 2 3 9	248-0294
㊱白山野々市広域事務組合 野々市消防署	本 町 五 丁 目 1 7-8	248-9119	㊳石川県としよりと 子供の健康ひろば	上 林 二 丁 目 1 8 5	246-0130
㊲J R 野々市駅	二 日 市 三 丁 目 1	248-0100	㊴と き わ 病 院	中 林 四 丁 目 1 2 3	248-5221
㊳公益社団法人野々市市 シルバー人材センター	白 山 町 8 - 1 5	294-8303	㊵け や き 野 苑	中 林 一 丁 目 1 - 1	248-4871
㊴野々市市防災コミュニティセンター	本 町 一 丁 目 2 - 5 0	—	㊶特別養護老人ホーム富樫苑	中 林 四 丁 目 6 2	248-8765
㊵のいちし地域安全センター	扇 が 丘 9 7 - 6	248-3412	㊷野々市市いきがいセンター矢作	矢 作 三 丁 目 2 - 1 0	246-2007
㊶白山警察署野々市北交番	二 日 市 三 丁 目 7	248-0125	㊸野々市市いきがい セ ン タ ー 御 経 塚	御 経 塚 一 丁 目 3 8	248-2231
学 校 施 設			㊹ふじひら児童館	藤 平 1 4 6	214-6125
㊱北陸学院扇が丘幼稚園	本 町 五 丁 目 6 - 2 3	248-1501	㊺アリスこども園	二 日 市 5 丁 目 3 3 2	294-2525
㊲青 竜 第 二 幼 稚 園	上 林 三 丁 目 1 6 7	248-5656	㊻つばきの郷児童館	二 日 市 5 丁 目 3 3 3	248-2111
㊳野々市小学校	本 町 五 丁 目 3 - 1	248-0084	㊼ヴィテンSMC保育園	横 宮 町 6 7 番 地 9	248-6210
㊴御 園 小 学 校	稲 荷 四 丁 目 1 2 8	248-3201	㊽幼保連携型認定こども園美郷保育園	郷 1 丁 目 1 0 2	246-3320
㊵菅 原 小 学 校	菅 原 町 2 0 - 1	246-6066	㊾認定こども園ほのみこども園	新 庄 三 丁 目 1 4 5	248-7000
㊶富 陽 小 学 校	中 林 五 丁 目 7 0	246-4380			

市内施設配置図

